目次

ご 挨 拶 6
ご 挨 拶 6

文部科学省　平成30年度
「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」

事業報告書

国立大学法人富山大学
男女共同参画推進室

目　　次

ご挨拶

国立大学法人富山大学　学長　遠藤　俊郎 …… 1
国立大学法人富山大学　理事　男女共同参画担当　鈴木　基史 …… 2
国立大学法人富山大学　学長補佐　大学コンソーシアム富山担当　秦　正徳 …… 3

富山県からのメッセージ

富山県総合政策局　少子化対策・県民活躍課　女性活躍・働き方改革
推進班長　掃本　之博 …… 4

Ⅰ　学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援

1．プログラム概要 …… 6
2．申請書・計画書 …… 8
◎　資料１～８，別紙１～３ …… 13

Ⅱ　富山大学連携オーダーメイド型コース

1．女性のための再就職支援講座 …… 20
2．女性のためのキャリアアップ支援講座 …… 25
3．受講者（各回）アンケートの結果 …… 30
◎　資料９ …… 35

Ⅲ　ミニフォーラム「女性が自分らしく輝くキャリア形成のために」

1．基調講演 …… 37
2．事業報告（国立大学法人富山大学 男女共同参画推進室） …… 42
3．各企業からの学び・キャリア形成支援の現状報告 …… 44
4．富山県女性財団・ハローワーク富山からの報告 …… 52
5．コーディネーターからの報告 …… 56
6．総合討論 …… 59

Ⅳ　総括

1．受講者（事後）アンケートの結果 …… 62
2．成果と課題 …… 66
◎　別紙４ …… 69
3．研究協議会での報告 …… 70

ご　挨　拶

国立大学法人富山大学
学 長　遠　藤　俊　郎

本学は，文部科学省平成 30 年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」に採択され,「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」と題して，女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みを構築し，その実証を試みてきました。

今回の事業では，大学が中心となり，他機関との協力で，富山型地域連携モデルをはじめて構築した点に大きな特色があります。大学コンソーシアム富山（産学官金ネットワーク会議），富山県，富山県女性財団，およびハローワークが連携し実行委員会を立ち上げ, 事業のプラットホームを形成いたしました。これまで男女共同参画推進事業は，本学では大学内のみを中心に行われ，またオープンクラスやサテライト講座など，独立した機関で職業訓練やリカレント教育が行われてきました。これらの教育機会を有機的につなぎ，受講者のニーズに沿った段階的な学びのコースを提供し，休職期間から始める学び直しの新しいモデルを構築･実証するなど，事業の発展的展開を目指しています。

おかげさまでセミナーへの参加者も予想をはるかに超え, 今回の取組を「富山モデル」として全国へ発信すべく，報告書を作成いたしました。ご覧いただきたいと存じます。

我が国，富山県の経済が持続的に発展するためには，女性，高齢者等に積極的に参画していただくことが喫緊の課題です。一連の学び直しのプログラムを受講した女性は，教養を高めることに加え，専門性の高い知識を習得すること，あるいはキャリアアップに必須となる経営者の視点を学ぶことができ，自信と意欲を持つ職業人として再出発できることと思います。富山県は，東京から富山への移住･ＵＩＪターンを促進するため，新年度の組織改変で，*人材活躍推進センターの設置を発表いたしました。多様な人材活用の支援事業の一環として，女性就業支援センター (マザーズジョブとやま) の設置も予定されています。皆さまのご活躍を祈念するとともに，本事業「富山モデル・学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」がその礎となることを願ってやみません。

＊資料 1

ご　挨　拶

国立大学法人富山大学　理事
男女共同参画担当　　鈴　木　基　史

本プログラム「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」の核としたものは，富山県の女性の就労状況や学び直しに対する需要など富山県特有の現状を把握し，女性ひとりひとりが必要としているものをニーズに沿った学びのコースとして提供する学び直しのモデルを構築し，実証することです。

自治体，県内公共機関，県内高等教育機関などと連携し，県内企業の協力も得て，女性のニーズ，企業のニーズに沿った学び直しの仕組みの構築，学び直しを行う際の課題，並びにキャリア形成に関して，「富山型地域連携モデル　オーダーメイド型学び・キャリア形成支援のプラットフォーム」を構築しました。

女性が「学び直し」，リカレント教育を活用して社会への参画，企業への復帰が可能となる仕組みづくりについて，地域特有の現状および企業の取組みを交えて検証を行っています。

富山大学は，地域に根ざし地域に開かれた大学として，地方自治体，県内高等教育機関，公共機関，県内企業などと連携し，人材育成を進めています。

この度のリカレント教育の活用による学びとキャリア形成支援が地域を活性化し，地域の発展に寄与し，かつ，富山大学が地域への貢献，知見の発見の一助となることを期待しています。

ご　挨　拶

国立大学法人富山大学　学長補佐
大学コンソーシアム富山担当　秦　　正　徳

私は大学コンソーシアム富山を担当しております。

ご存じだと思いますが，富山には９つの高等教育機関がありまして，そのうちの７つが大学コンソーシアム富山に加盟しております。すなわち，富山県立大学，富山国際大学，高岡法科大学，富山短期大学，富山福祉短期大学，富山高等専門学校，そして富山大学の７高等教育機関です。

この大学コンソーシアム富山が設立されましたのは今から６年前になりますが，当初から富山大学男女共同参画推進室の取組みを富山県内の高等教育機関へ広げようと連携してまいりました。

大学コンソーシアム富山には，産官学金ネットワーク会議がございまして，これは富山県内の経済界を代表する富山県商工会議所連合会，富山県商工会連合会，富山経済同友会，富山県中小企業団体中央会，富山県経営者協会，行政の富山県，加盟高等教育機関，金融機関である，北陸銀行，富山第一銀行，富山銀行，富山信用金庫，が一堂に会した会議です。大学コンソーシアムにある会議としては全国的に珍しい存在でございます。

この会議を通して，高等教育機関と行政だけではなく，地場の産業の方々，金融業の方々と一緒にネットワークを作り人材育成，人材活用，啓発支援に取り組んでおります。この会議の趣旨の一つに合致していますダイバーシティの推進を富山大学男女共同参画推進室が担っており，富山県の高等教育機関に留まらず推進の広がりを見せております。

私は，人が輝き続けるというのは，自己実現ではないかと考えています。

自分の能力を社会に認めてもらい，その社会の中で自分が活動できるというのが自己実現ではないかと，また一番，人が輝く状態ではないかと思っています。

この男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業は，働く人の輝く社会を作るために，いろいろサポートしている事業と聞いております。女性に限らずすべての人が輝き働ける仕組みづくりになっているのかな，と一緒に考え課題解決を図り，そうした中でいかに自分を高めていくのかなというときに，今回ありました学習の機会，新たなことに遭遇するという機会を大学は提供できると思います。

今後も富山大学と大学コンソーシアム富山を介して地域の方々と連携しながら実施していければと願ってやみません。

富山県からのメッセージ

富山県総合政策局　少子化対策・県民活躍課
女性活躍・働き方改革　推進班長　　掃　本　之　博

富山県では，結婚や出産により離職した女性の再就職に対する意識づけや意欲の向上，また育休取得中（今後，育休取得予定）の女性の職場復帰への不安の解消やスキルアップを図るため，女性のキャリアデザイン応援事業「未来に踏み出すキャリアアップ応援講座」を実施した。前期（６月～７月）に「女性の再就職パワーアップ応援講座」（全３回），後期（１月～２月）に「産休・育休からの職場復帰準備講座」（全３回）を実施した。

○女性のキャリアデザイン応援事業「未来に踏み出すキャリアアップ応援事業」

（前期）女性の再就職パワーアップ応援講座

開催日時	内　容	講　師	受講者数
6月13日 9:00～12:00	第１回　自分自身のアピールポイントを探ろう	㈲Ｃマインド 代表取締役　長谷川 能扶子 氏	17名
6月20日 9:00～12:00	第２回　就職活動に役立つ，コミュニケーション術	㈱ハナマルキャリア総合研究所 代表取締役社長　上田　晶美 氏	15名
6月27日 9:00～12:00	第３回　面接に備える ～面接対策・職務経歴書の作成	キャリアオフィスみのわ 代表　蓑輪　紀子 氏	16名
7月11日 全日	個別のキャリアコンサルティング	長谷川 能扶子 氏 蓑輪　紀子 氏	10名

（後期）産休・育休からの職場復帰準備講座

開催日時	内　容	講　師	受講者数
1月30日 9:30～12:30	第１回　ママもパパも仕事と育児の両立を楽しもう！	育休後コンサルタント® 山口　栄理 氏	24名
2月6日 9:30～12:30	第２回　自分らしい働き方を考える ～コミュニケーションＵＰのコツ～	㈱キャリア・マム 代表取締役（ＣＥＯ） 堤　　香苗 氏	21名
2月14日 9:30～12:30	第３回　私を素直に表現する生き方＆仕事術	人材活性・チームコンサルタント ソーシャルスキル・プログラム 代表　吉田　真知子 氏	22名

前期の講座では，第１回は「自分自身のアピールポイントを探ろう」として，㈲Ｃマインド代表取締役の長谷川能扶子氏を講師としてグループワークを通して自分の強みや長所，自分の適性に合った仕事はなにかについて考えた。

第２回「就職活動に役立つ，コミュニケーション術」では，㈱ハナマルキャリア総合研究所代表取締役社長の上田晶美氏を講師とし，働き始める前の心構えや，家庭や職場を円滑に回すためのコミュニケーションのコツを学んだ。

第３回「面接に備える～面接対策・職務経歴書の作成」では，キャリアオフィスみのわ代表の蓑輪紀子氏を講師とし，履歴書・職務経験書を作成する際のポイントを学び，受講者同士で面接の練習をした。

３回の講座実施後には，長谷川氏と蓑輪氏を講師とし，受講者それぞれが抱えている再就職への不安や疑問に対してアドバイスするための個別のキャリアコンサルティングを実施し，10 人の受講者が参加した。

受講者にはそれぞれ，受講から半年後に就職状況を調査し，回答者 18 名中９名（50%）が再就職していた。また，再就職していない回答者の中には，さらなるスキルアップに向け職業訓練を受けている者もおり，再就職に向けた前向きな姿勢が見受けられるなど，事業の効果があったものと考えている。

また，後期講座では，第１回に「ママもパパも仕事と育児の両立を楽しもう！」として育休後コンサルタント ® の山口栄理氏を講師に招いた。育児は女性だけでなく男性の参画が大変重要であることから，講師とも相談し，夫婦での受講を呼びかけたところ，受講者 24 名のうち 10 名（５組）が夫婦での参加となった。仕事と育児の両立をとりまく社会の動向や夫婦でどのように仕事と育児を両立していくかなどを学んだ後，パートナーと話し合いたいことを整理したり，仕事がある日のタイムテーブルを作成してみたりして，職場復帰後の夫婦での役割分担について具体的に考えた。

第２回「自分らしい働き方を考える～コミュニケーションＵＰのコツ～」では，㈱キャリア・マム代表取締役（ＣＥＯ）の堤香苗氏を講師とし，キャリアブランクや子育てをしながら働くことへの不安を整理・解消し，ワークを通し，自分に合った働き方について考えた。

第３回「私を素直に表現する生き方＆仕事術」では，人材活性・チームコンサルタントソーシャルスキル・プログラム代表の吉田真知子氏を講師とし，ソーシャルスタイル理論により自分のスタイルやスタイルごとの特徴を学んだ。また，自分の意見や思いを伝える方法を学び，コミュニケーションスキルを磨いた。

平成 31 年度も今年度と同様に，再就職を希望する女性や産休・育休を取得中（今後取得予定）の女性を対象とした講座を実施し，働くことへの意欲の向上やキャリアブランクによる不安の解消を図り，女性の就業支援に取り組んでいくこととしている。

Ⅰ　学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援

1．プログラム概要

文部科学省平成 30 年度
「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」

事業趣旨

男女がともに仕事と家庭，地域における活動に参画し，活躍できるような社会の実現を目指すためには，個人の可能性を引き出すための学びが不可欠である。このため，女性が子育てをしながら学びやすい環境整備と学びから社会参画へつなげるキャリア形成支援は，一体的に推進していくことが必要である。しかしながら，学びの場として重要な教育機関である大学等においては，保育所の整備は十分に進んでおらず，また，女性や企業のニーズに合ったプログラムや学びから社会参画につながる仕組みも十分ではないという状況がある。

このため，女性がリカレント教育を活用して復職・再就職しやすい環境整備の在り方や，大学，地方公共団体，男女共同参画センター等の関係機関が連携し，地域の中で女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みづくりに関するモデル構築や普及啓発のための研究協議会を開催する。

富山大学「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」プログラム

富山大学では，「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」を計画し，富山県の女性の就労状況や学び直しの需要を把握し，県内の独立した機関で個々に行われている職業訓練やリカレント教育などの教育機会を有機的につなぎ，受講者のニーズに沿った段階的な学びのコースを提供することで，休職期間から始める学び直しの新しいモデルを構築し，実証的に行うこととした。

富山大学に「学びのコーディネーターデスク」を開設し，ワンストップで学びのプラン作成から保育先情報までを案内することで，各団体のセミナー等を連動させ，受講者の求める学びに応える仕組みを構築する。実施体制として，富山大学が代表機関となり，富山県総合政策局，富山県女性財団，ハローワーク富山，並びに大学コンソーシアム富山（産学官金ネットワーク）からなる実行委員会が連携し，「富山型地域連携モデル　オーダーメイド型学び・キャリア形成支援のプラットフォーム」を確立することで，学び直しを通じた女性の社会参画を支援する。

本プログラムの実施により，事業に係るすべての機関やそれらの行う講座等の受講者それぞれにとって選択肢が広がるとともに，富山県の現状と課題を明らかにすることにより今後の新たなキャリア形成支援を可能とする。

ウェブサイト

平成 30 年 6 月に本学が「学び直しを通じたキャリア形成支援」に採択されたことを受け，平成 30 年 9 月 10 日にウェブサイトを開設した。

URL：http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/news/manabi-c.html

本事業の「学びのコーディネーターデスク」開設について，ウェブサイトを通じて広く周知し，電話・メールでの問合せや相談を受け付けるとともに，支援講座開催案内や活動報告等の情報提供を行った。

2．申請書・計画書

業　務　計　画　書

1．業務題名

「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」

2．業務の委託期間

平成 30 年 8 月 16 日から平成 31 年 3 月 15 日まで

3．　実施組織の構成

①組織の全体構成員

氏　　名	所　属　・　役　職　等	備考欄
鈴　木　基　史	富山大学・理事（男女共同参画推進担当）	
市　田　蕗　子	富山大学・学長補佐（男女共同参画推進室長）	
呉　人　　恵	富山大学・教授（男女共同参画推進副室長）	
東　田　千　尋	富山大学・教授（男女共同参画推進副室長）	
秦　　正　徳	富山大学・学長補佐（大学コンソーシアム富山担当） （富山産学官金ネットワーク会議担当）	
新　庄　幹　夫	富山県商工会議所連合会常任理事・事務局長	※
斉　藤　幸　江	(公財) 富山県女性財団 富山県民共生センター　サンフォルテ館長	※
山　本　美稔子	富山県総合政策局少子化対策・県民活躍課課長	※
林　　信　彦	富山第一銀行地域部副営業推進役	※
原　　保　広	ハローワーク富山所長	※
荒　谷　昌　孝	北陸銀行地域創生部副部長	※

※　連携機関は機関名順で表記。

②事業推進担当者

氏　　名	所　属　・　役　職　等	備考欄
市　田　蕗　子	富山大学・学長補佐（男女共同参画推進室長）	

4．取組内容の趣旨・目的

【背景】

富山県は高齢化が進み女性の労働が期待されている。３世代同居による家族支援など就業環境の整備は進み女性の勤続年数は長い。一方で，管理職比率は低い特徴を持つ。

富山県少子化対策・県民活躍課による調査結果「女性の活躍推進にかかる県の状況及び取組みについて」によれば，以下のことが明らかになった（資料２）。

①　富山県の人口は，2010 年と比較すると 2040 年には，高齢者人口は 3.7 万人（13%）増加し，生産年齢人口（15～64 歳）は 23 万人（35%）減少する。高齢化が全国平均より約 10 年早く進む富山県の経済が持続的に発展するためには，女性，高齢者等を積極的に活用し，労働力を確保することは喫緊の課題である。

（資料２，人口減少状況）

②　15～64 歳の女性のうち，約 4 分の 3 は就業している。　（資料３，女性の労働力の状況）

女性は，出産，子育てを機に就業を中断する場合が多いことから，年齢階級別労働力率は 30 歳代を底とした M 字カーブを描く。富山県の M 字カーブの底は全国平均より浅い。

③　出産後も就業を継続する女性が増加傾向にあるが，富山県では，第 1 子出産を機に常勤・パート合せて約 5 割の女性が就業を辞めている。（資料 4，女性の就業状況①）

④　富山県では，3 世代同居世帯の割合が高く（H27:13.2%，全国 5 位），女性が育児や家事を家族に任せられたことが要因となり女性の有業率が高い。雇用者数が減少する中で，女性の雇用者数は横ばいで，雇用者に占める女性の割合が高くなっている。また正社員の割合も全国平均に比べて高い。（資料 5，女性の就業状況②）

⑤　富山県の女性の平均勤続年数は 11.2 年（H28　全国 2 位）と長く，共働き率も高い。（資料 6，女性の就業状況③）

⑥　民間事業所を含めた管理的職業従事者に占める女性の割合は，全国平均と比べ低い。（H27 全国 44 位）（資料 7，管理職登用等の状況）

⑦　職場における育児支援制度は整備されてきており。育児休業取得率は全国を上回っている。（資料 8，両立支援の状況）

【実態調査】

平成 29 年度富山県女性活躍推進調査によると，いったん離職した女性も育児休業取得中の女性も潜在的に働く意欲があり，実際に中断後も働いている女性が多い。また，9 割以上の従業員が，職場での女性の活躍を推進するべきだと回答している。女性活躍推進のための行政への要望には，女性側からは，子育てインフラの充実（38.2%）を抑えて，結婚・出産を機に退職した女性の再就職を支援するセミナーの充実（39.3%）が挙げられている。（別紙 1，女性活躍推進調査報告）

【学び直しの受け皿】

これら学び直しの受け皿として，以下のように，県内の高等教育機関や自治体により，すでにいくつもの仕組みが稼働している。（別紙 2～3）

高等教育機関：富山大学を例にとると，オープンクラスが約 360，大学院のハイグレード・オープン・クラスが 60 以上，また，富山大学サテライト講座も一般市民向けに公開されている。大学コンソーシアム富山では，大学連携講演として，「知の宝庫を開く」を開催している。

自治体：出産・育児のために離職した女性を対象にした「女性の再就職パワーアップ応援塾」が，富山県により平成 25 年以来 5 年間継続して開講され，平成 30 年度も開催予定である。また，富山県女性財団では，就業支援技術講習として，女性の再就職サポート講座として，女性の再就職に有利なパソコン資格取得，実践的スキルの習得を支援している。また，ハローワークを窓口に，離職者や新たな職業に就こうとする者を対象に民間委託職業訓練コースが開講されている。また，県民カレッジ主催講座も通年で開催されている。

【取組内容の趣旨・目的】

このように独立した機関で職業訓練やリカレント教育が行われているが，相互のつながりは無い。このことから，職業訓練，リカレント教育はじめ教育機会を有機的につなぎ，受講者のニーズに沿った段階的な学びのコースを提供することで，休職期間から始める学び直しの新しいモデルを構築し，実証的に行う。いったん離職した女性も休職中の女性も，それぞれの希望に沿った学びの内容や受講期間を設定することで無理なく学ぶことができる仕組みとする。一連の学び直しのプログラムを受講した女性は，教養を高めることに加え，専門性の高い知識を習得すること，あるいはキャリアアップに必須となる管理者や経営者の視点を学ぶこと等ができる。技能・知識・意識を一体的に高めるプログラムの構築を目指すことであらゆる立場の受講者が学びのプログラムを通して，自信と意欲を持つ職業人として再出発できるようにする。

【取組概要】

大学が中心となり，大学コンソーシアム富山（産学官金ネットワーク会議），富山県，富山県女性財団，ハローワークが連携し実行委員会を立ち上げ，富山型地域連携モデルを構築し，学び・キャリア形成支援のプラットホームとする。学びを通じた女性の社会参画を支援し，これを実証する。実行委員会は，3 回開催し，情報共有だけでなく実施内容の改善や各機関の連携を深める場とし，成果・課題を検証する。具体的には，ハローワークを窓口として実施する離職者の学び直し（職業訓練），富山県が主催する「女性の再就職パワーアップ応援講座」（ハローワークの求職活動実績にもなる），富山県女性財団「女性の再就職サポート講座」，大学等高等教育機関が開講するオープンクラス（教養教育・専門教育・高度専門教育），大学コンソーシアム富山・産学官金ネットワーク会議メンバーによる大学連携講演や産業界のリーダー等から直接話を聞くことができる講演会等の学習機会，これらすべてを一体的に連動させる

ことにより受講者の求める学びに応え得る仕組みを構築し需要等を実証する。

富山大学が取り纏め機関となり，学びのコーディネーターデスクを開設し，ワンストップで学びのプラン作成から保育先情報提供までを案内する。コーディネーターは，メンタルヘルスのライセンスを有し，一人一人に寄り添う支援を行い，キャリアコンサルタントの役割も担う。女性のスキルアップに加え，働く女性が置かれている状況を知った上で，男女共同参画の視点で，これからの人生設計についてアドバイスする。このことにより，学びの目的や学びにかけられる時間が異なる育児中の女性に最適な学びの機会を提供することが可能である。また，参加登録をした女性が，その後再就職へと向かったかどうかのフォローを行う。

現在，富山県が主催する「女性の再就職パワーアップ応援講座」や富山県女性財団による「パソコン講座」は，「自分の適正を知る」「社会人としての基礎力を身につける」など，再就職のため基本的な知識やスキルの習得を目指している。

さらに，本学の学び・キャリア形成支援の富山型地域連携モデルでは，①キャリア支援コース（4 回コース）では，自己理解，コミュニケーションコーチング，プレゼンテーション能力開発を目指し，②教養コース（4 回コース）では，新聞の読み方などの一般教養の講義を行う。受講者は社会情勢を的確に読み解く感性を磨くとともに，社会への関心を高く保つ充実した職業人生活に一歩踏み出すことができるように，意識啓発とスキルアップを目指したセミナーを開催していく。

また，女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みづくりに関するモデルを構築する上で，関連機関が一堂に会し，各機関の代表による現状と課題を発表するミニフォーラムを開催する。富山県特有の課題と成果を明らかにし，さらに必要な講座や支援の方法に関して討議し，今後の事業展開の基盤とする。

5．実施により得られることが見込まれる成果・効果

（成果・効果）

≪受講女性≫

（1）学び直しの機会や，選択肢を広げ新たなキャリア形成が可能となる。これは，職場を離れている時間だからこそできるライフキャリアデザインとして位置付けができる。
（2）育児のために家庭にこもりがちな女性にとって，直接社会と繋がる機会となる。
（3）段階的な社会参加ができる機会となる。
（4）学び直しにより，自己実現につながりキャリアアップの機会となる。
（5）タイムマネジメントを学ぶ機会となる。
（6）ストレス対応を学ぶ機会とする。
（7）再就職への具体的な支援の第一歩となる

≪企業≫

（1）段階的な社会参加を経た女性が，スムースに職場復帰を果たす。
（2）経験値の高い社員の復帰は，人材育成にかけた手間・暇・コストを活かすことになる。
（3）ライフイベントを通じて新たな視点を得た女性は，企業にとって働き方改革の重要な情報源となる。

≪大学コンソーシアム富山≫

○産官学金ネットワーク会議

（1）講師を務める産官学金ネットワーク会議委員にとっては，企業側の希望を伝えることができる機会となる。
（2）女性の実情を知ることでビジネスモデル構築の機会となる。
（3）産業界全体では，労働力人口の減少が必至であるが，経験と意欲に満ちた女性の育成・活用という大きな課題を産業構造全体で見直す機会となる。

○７高等教育機関

（1）開講しているオープンクラスの利用実績を上げることができる。
（2）一般市民，特に青壮年層の受講者を増やすことで，18 歳人口減少が進む高等教育機関にとって，新たなビジネスモデルの先駆けとなる。

≪自治体≫

（1）富山県民男女共同参画計画（第４次）の基本目標Ⅱに掲げている「あらゆる分野における女性の活躍」に資する。

（2）各種の取り組みを有機的に繋ぐことで，リカレント教育の受講者が増加する。
（3）富山県が中心となって目指している働き方改革を推進する。

以上，本プログラムの実施に携わる全ての機関や受講者にとって効果が見込まれる。さらに，すでにある支援制度の活用により比較的に短期間に実証事業の効果が期待できる。

本プログラムは，出産・育児中の女性の学び直しを中心にしたキャリア形成支援であるが，今後は高齢者の活用も視野に入れた，学び直しの仕組みとすることは可能である。１億総活躍化が求められる現在，他の都道府県より 10 年程度高齢化が進んでいる富山県における「高齢者の学び直し」は他県に先行するプログラムとして応用できる。

特に実施組織の中核となる大学コンソーシアム富山の７高等教育機関にとっては，一般市民向けに開講しているオープンクラスはいまだ認知度が低く利用実績も低い。一般市民の受講者にとっては，ハードルが高いことが推察できる。そこで青壮年層の一般市民，特に女性の受講者を増やすことは，18 歳人口減少の一途を迎え高齢化が進む富山県の高等教育機関にとっては，新たなビジネスモデルとして早急に取り組むべき課題である。

（目標，測定する指標）

（1）本プログラムへの参加登録者数を把握する。
（2）連携機関が実施する，以下について利用実績を把握する。
　富山県：「女性の再就職パワーアップ応援講座」参加者数
　富山県女性財団：「女性の再就職サポート講座」参加者数
　大学コンソーシアム富山：大学連携講演「知の宝庫を開く」参加者数
　富山大学：サテライト講座，公開講座，オープンクラス，ハイグレード・オープン・クラスの参加者数
（3）その他，各種プログラムの利用状況を取りまとめ，利用実績を分析する。
（4）保育支援利用者数を把握する。
（5）受講者のアンケートを取りまとめ，本プログラムの評価を行なう。
（6）参加登録者のうち，再就職となった人数を把握する。

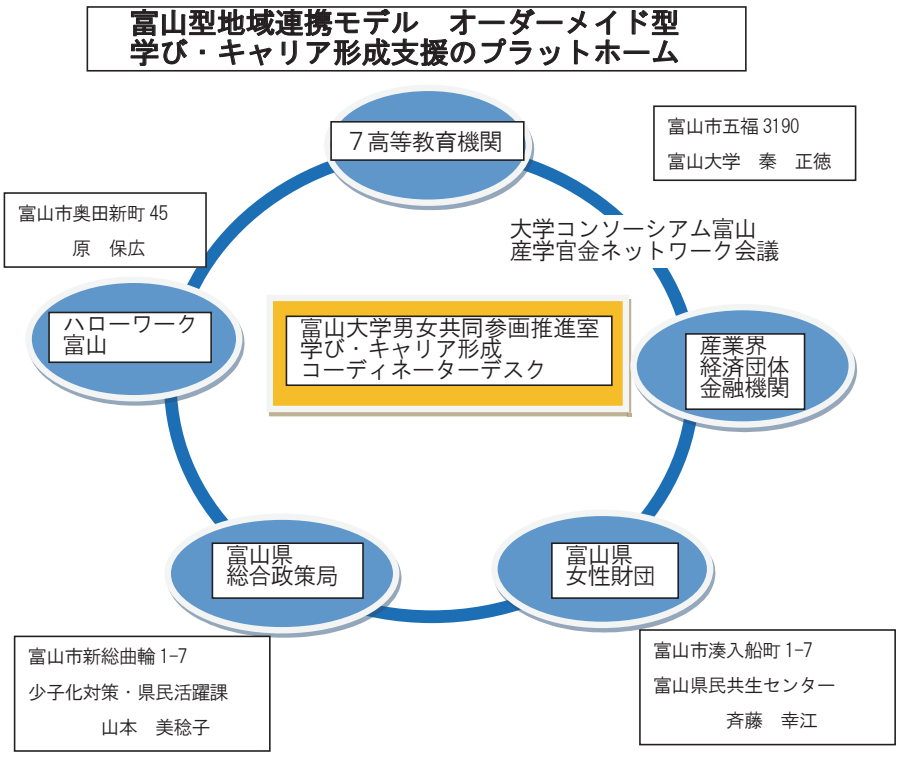
６．具体的実施内容，実施方法等

富山大学が取り纏め機関となり，男女共同参画推進室に，「学び・キャリア形成支援のコーディネーターデスク」を開設し，ワンストップで学びのプラン作成から保育先情報提供までを案内することにより，学びの目的や学びにかけられる時間が異なる育児中の女性に最適な学びの機会を提供する。「学び･キャリア形成支援コーディネーター」が，各々の女性のキャリア形成にあった学びのコースや講座を紹介し，保育や受講の支援を行う。受講者は，その後の職場復帰を含めたアンケート調査や先輩としての経験談の紹介に協力いただく。

（1）富山大学が中心となり，オーダーメイド型コースとして，キャリア支援コース，教養コース各４回を開設し，大学コンソーシアム富山の７高等教育機関，産業界，金融業界の委員による講座を開催する。
　①　キャリア支援コース（4 回コース）
　　自己理解，コミュニケーションコーチング，プレゼンテーション能力開発コース
　②　教養コース（4 回コース）経済学入門などの一般教養コース
　　新聞の読み方（経済・経営・会計・法律の４回コース）の講義を行う。受講者は社会情勢を的確に読み解く感性を磨くとともに，社会への関心を高く保つ充実した職業人生活に一歩踏み出すことができる。
（2）富山県が主催する「女性の再就職パワーアップ講座」
　［前期］　６月　再就職に必要な知識や実践的なスキルを学ぶ．セミナー３回
　［後期］　10 ～ 11 月　同上の内容
（3）富山県民共生センター［富山県女性財団］女性の再就職サポート講座
　女性の再就職に有利なパソコン資格取得，実践的スキルの習得，自立に向けた情報提供等の支援，パソコン入門講座（前期，後期３回）
（4）富山大学公開講座，サテライト講座，オープンクラス，ハイグレード・オープン・クラスの受講
（5）大学コンソーシアム富山公開講座　「知の宝庫を開く」の受講
（6）ハロー・ワーク職業訓練の受講
（7）県民カレッジ主催講座・自遊塾の受講

7．実施体制（連絡先や再委託先まで含めた実施体制について図示すること。）

富山大学が代表機関となり，富山県総合政策局，ハローワーク富山，並びに大学コンソーシアム富山･産学官金ネットワーク会議からなる実施体制を確立する。



8．事業実施スケジュール（行程がわかるように適宜様式を編集して記載すること。）

業務項目	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実行委員会			第１回実行委員会			第２回実行委員会		第３回実行委員会（連携会議）ミニフォーラム			
受講者登録			開始						アンケート調査　集計		
連携オーダーメイド型コース						教養コース４回		キャリアコース４回			
富山県『女性のパワーアップ応援講座』						後期３回					
富山県女性財団再就職サポート講座					パソコン入門，エクセル講習，パソコン活用						
富山大学サテライト講座					第４回		～		第８回		
大学コンソーシアム富山“知の宝庫”					第 1, 2, 3 回						
富山大学公開講座	通年										
ハローワーク知識習得コース	通年										
育児との両立支援コース					9 月		～	12 月			
県民カレッジ	通年										

資料

資料 1

就職支援の窓口一本化

5機関集約 センター新設

県が人手不足対策

県は人手不足対策の強化へ新年度、求職者と企業とのマッチングをワンストップで支援する「県人材活躍推進センター」をとやま自遊館（富山市湊入船町）内に開設する。独立して存在する複数の就職支援機関を集め、求職者、企業双方の利便性を高める。子育て中の母親らを対象とした女性就業支援センター（マザーズジョブとやま）も新たに設け、多様な人材の活用を推進する。12日、石井隆一知事が会見で明らかにした。【関連記事3面】

多様な人材活用後押し

県人材活躍推進センターの各組織
- 若者就業支援センター（ヤングジョブとやま）
- インターンシップ推進センター
- シニア専門人材バンク
- 女性就業支援センター（マザーズジョブとやま）
- プロフェッショナル人材戦略本部

具体的には▽若者就業支援センター（ヤングジョブとやま）▽インターンシップ推進センター▽シニア専門人材バンク▽マザーズジョブとやま▽プロフェッショナル人材戦略本部ーの5就職支援機関を自遊館2階に集める。総合窓口を設け、求職者や人手不足に悩む企業の相談内容に応じて案内する仕組みをつくる。

これまで県の就職支援機関は個別に作られ、相談窓口も自遊館や新世紀産業機構（富山市高田）など複数の場所にまたがっていた。統括する県人材活躍推進センターを設けることで、相互の連携や事務の効率化を図る。

新たに発足させるマザーズジョブとやまは、子育て中の母親や県外から移住した女性らを対象にした就職支援機関で、女性が働きやすい職場づくりに向けた企業支援も行う。さらに、新卒障害者の就職支援を強化するため、ヤングジョブとやまに専門のコーディネーターを配置する。センター長には次長級の職員が就き、センター全体で総勢40人ほどの体制となる見込み。

また、県内移住を希望する人たちの就職を支援する「富山くらし・しごと支援センター」の富山オフィス（同市宝町）も自遊館2階に移転し、県人材活躍推進センターとの連携を深める。東京から地方に移住して起業・就業した人に対して最大300万円を支援する国の補助制度を最大限活用したい考えという。

石井知事は「日本全体の生産年齢人口が減少する中、女性や高齢者ら多様な人材が活躍できるよう力を入れる」と説明。県総合政策局に「移住・UIJターン促進課」を新設するほか、入管法改正に伴う外国人材の受け入れ策を強化する方針も示した。

北日本新聞 H31.2.13 付

移住促進で単独課

新年度 県の組織改編

人材活躍センター設置

知事会見

石井隆一知事は12日、県庁で会見し、国が創設する東京から地方への移住支援制度を最大限活用して移住・定住を推進するため、新年度の組織改編で移住・UIJターン促進課を総合政策局内に新設すると発表した。若者や女性、高齢者ら多様な人材と企業のマッチングを促す県人材活躍推進センターも設置。同局内の地域振興・中山間対策室を含めて1室3課3班3係を新設する。

石井知事は、国の移住支援制度創設で他県でも移住対策に力を入れる動きが出てくると見通し「全国で関心が高まる中、先行してきた富山県としてパイオニアの役割を果たす」と推進に強い意欲をみせた。

移住・UIJターン促進課は、総合政策局企画調整室内の移住・UIJターン促進担当課を単独の課に格上げし、1人増の9人体制とする。多様な人材確保のため、労働政策課内の雇用推進係も雇用推進班に改組する。外国人材受け入れ増加を見据え、国際課の企画係と国際協力係を統合し多文化共生係を設置する。

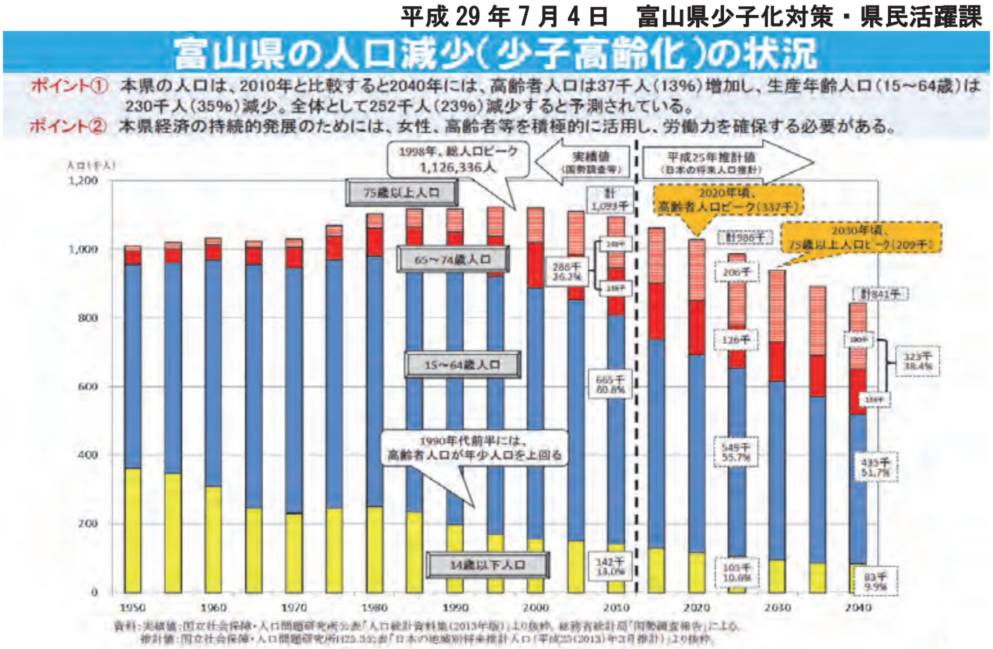
新設の人材活躍推進センターは次長級ポストのセンター長、課長級の事務局長を置き、新たに女性就業支援センター（マザーズジョブとやま）を設置。いずれも富山市のとやま自遊館に組織を置き、相互に連携する。県外出身の県内学生に地元企業の魅力を伝えて定着を図ったり、女性の働きやすい職場づくり・求職者開拓などを進める。

富山新聞 H31.2.13 付

資料 2

女性の活躍推進にかかる県の状況及び取組みについて

平成 29 年 7 月 4 日　富山県少子化対策・県民活躍課

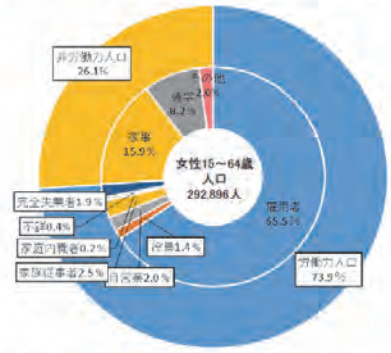


資料 3

女性の労働力の状況

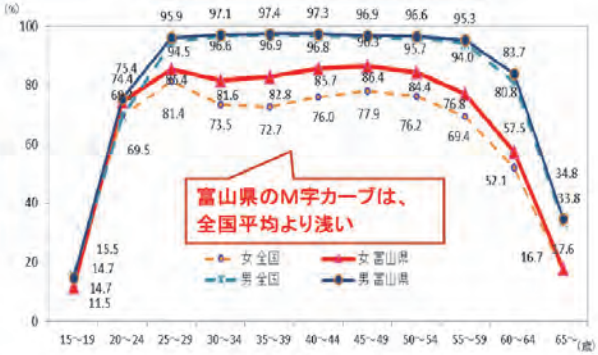
ポイント① 15～64歳の女性のうち、約4分の3は就業している状態にある。
ポイント② 女性は、出産、子育てを機に就業を中断する場合が多いことから、年齢階級別労働力率は30歳代を底としたM字カーブを描く。富山県のM字カーブの底は全国平均より浅い。

女性の労働力状態（富山県）



資料：総務省「H27国勢調査」

年齢階級別労働力率（全国・富山県）



資料：総務省「平成27年国勢調査」

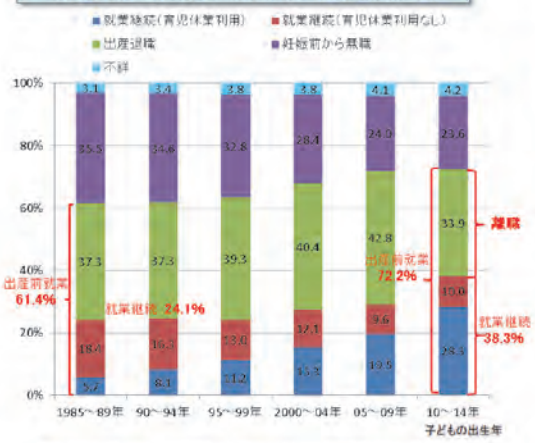
○女性（15～64歳）の有業率　富山県：70.0%（全国4位）全国：63.1%（H24就業構造基本調査）
○女性（20～64歳）の就業希望者　富山県：31,100人（うち非求職者18,400人）（H24就業構造基本調査）

資料 4

女性の就業状況①

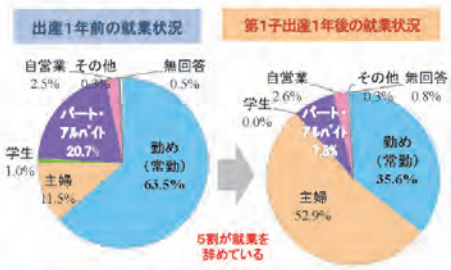
ポイント① 出産後も就業を継続する女性が増加傾向にあるが、出産を機に約5割が就業を辞めている。
ポイント② 本県では、第1子出産を機に常勤・パート合わせて約5割の女性が就業を辞めている。

第1子出生別にみた、第1子出産前後の妻の就業変化（全国）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「2015年第15回出生動向基本調査（夫婦調査）」
（n=8,867　50歳未満の有配偶者女性）

出産後の就業継続の有無（富山県）



資料：富山県「平成25年 子育て支援サービスに関する調査」
（n=797　県内の未就学児を持つ保護者）

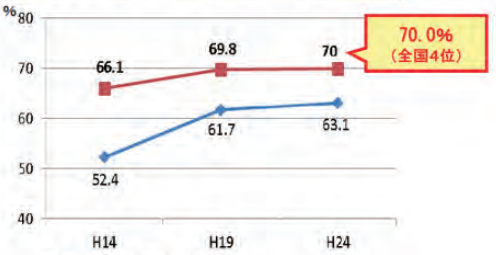
資料 5

女性の就業状況②

ポイント① 3世代同居世帯の割合が高く（H27、13.2%、全国5位）、女性が育児や家事を家族に任せられたことなどが要因となり、女性の有業率が高い。

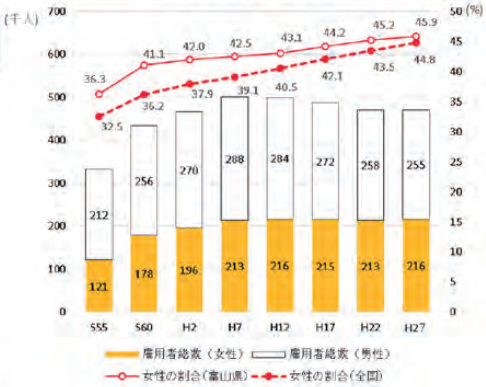
ポイント② 雇用者数が減少する中で、女性の雇用者数は横ばいであり、女性の割合が高くなっている。また、正社員の割合も全国平均に比べて高い。

女性有業率（富山県・全国）
（女性有業者数（15～64歳）／女性人口（15～64歳））



※ 総務省「就業構造基本調査」

雇用者数の推移と雇用者総数に占める女性の割合（富山県）



※ 総務省「国勢調査」

女性雇用者に占める正社員の割合

区分	H14	H19	H24
富山県	56.4	54.1	50.3
全　国	45.0	43.0	41.1
全国順位	2位	1位	1位

%

※ 総務省「就業構造基本調査」

資料 6

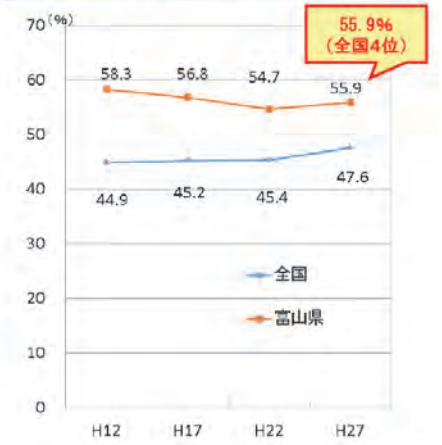
女性の就業状況③

ポイント① 本県の女性の平均勤続年数は全国平均と比べて長く、共働き率も高い。

平均勤続年数の推移（富山県・全国）

※ 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

共働き率（富山県・全国）



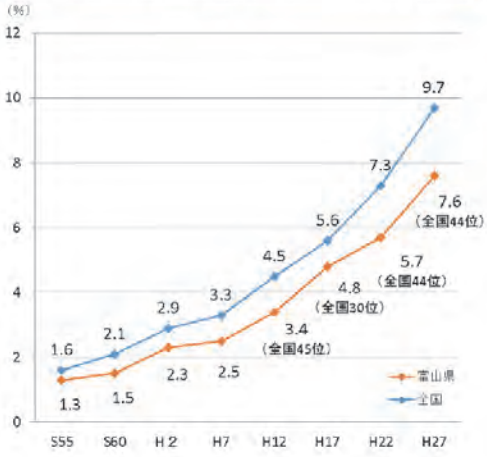
※ 総務省「国勢調査」

資料 7

女性の管理職登用等の状況

ポイント① 民間事業所を含めた管理的職業従事者に占める女性の割合は、全国平均と比べ低い。
ポイント② 「煌めく女性リーダー塾」の修了者のうち、受講後に昇格している者は、24人（うち管理職登用は6人）となっている。

民間事業所を含めた管理的職業従事者に占める女性の割合（富山県・全国）



資料 総務省「国勢調査」

「煌めく女性リーダー塾」修了者の受講後の状況

区分	修了者数	昇任者	うち管理職(※)
第1期（H25）	22人	11人	4人
第2期（H26）	26人	10人	1人
第3期（H27）	29人	3人	1人
第4期（H28）	68人	0人	0人
問題解決コース	26人	0人	0人
スキルアップコース	42人	0人	0人
計	145人	24人	6人

※リーダーをめざす女性社員の交流と自己研鑽、業種・職種の枠を超えたネットワークを構築するため、H25から開講
※管理職は、支店長、副支店長、課長などの管理監督者

資料 8

仕事と子育ての両立支援制度の状況

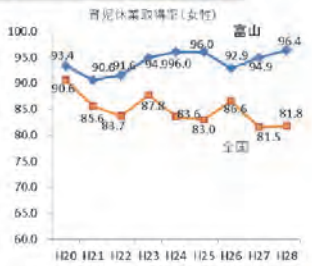
ポイント① 職場における育児支援制度は整備されてきている。
ポイント② 本県の育児休業の取得率は全国を上回っている。
ポイント③ 本県男性の育児休業の取得率は近年伸びており、H27 から全国平均を上回っているものの依然として女性に比べると低い。

育児支援制度の状況（富山県）

	育児休業制度			育児休業以外の短時間勤務制度を実施							実施していない
	就業規則に規定	取得率 男性	取得率 女性	計	短時間勤務	所定外労働の免除	フレックスタイム	時差出勤	事業所内保育	その他	
平成28年	88.9	5.8	96.4	85.3	(93.3)	(81.5)	(8.5)	(14.6)	(1.0)	(4.8)	14.7
平成23年	84.5	1.0	94.9	81.3	(90.0)	(65.5)	(7.0)	(11.1)	(0.2)	(4.8)	18.7
平成18年	79.9	0.2	87.8	72.9	(82.3)	(38.5)	(17.7)	-	-	(9.9)	27.1

資料：富山県「賃金等労働条件実態調査」

育児休業の取得率（全国・富山県）

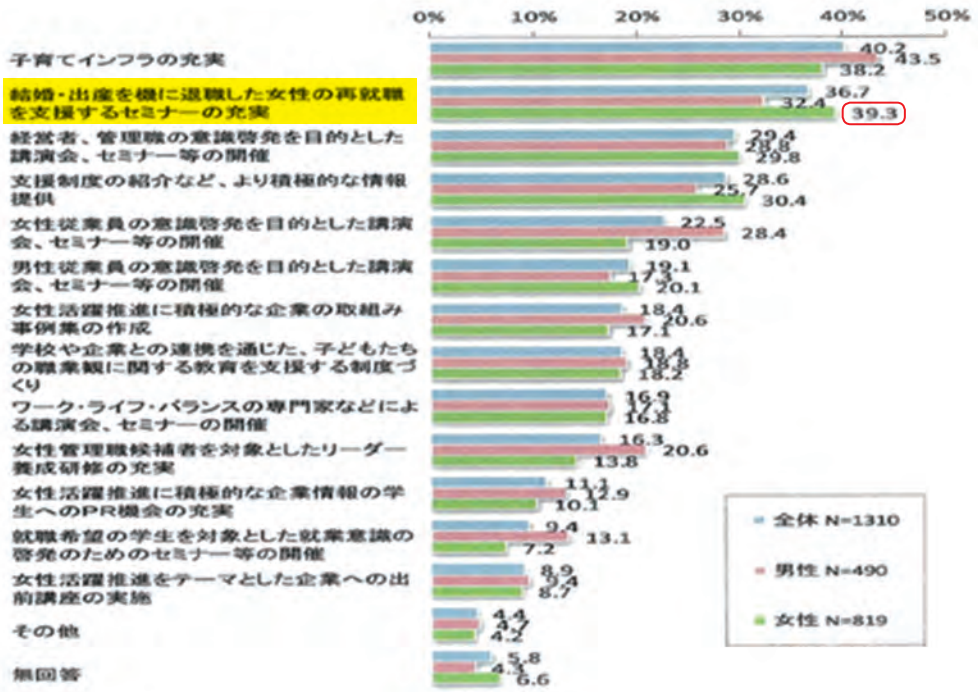


資料（全国）厚生労働省「女性雇用管理基本調査」、「雇用均等基本調査」
（富山県）「賃金等労働条件実態調査」

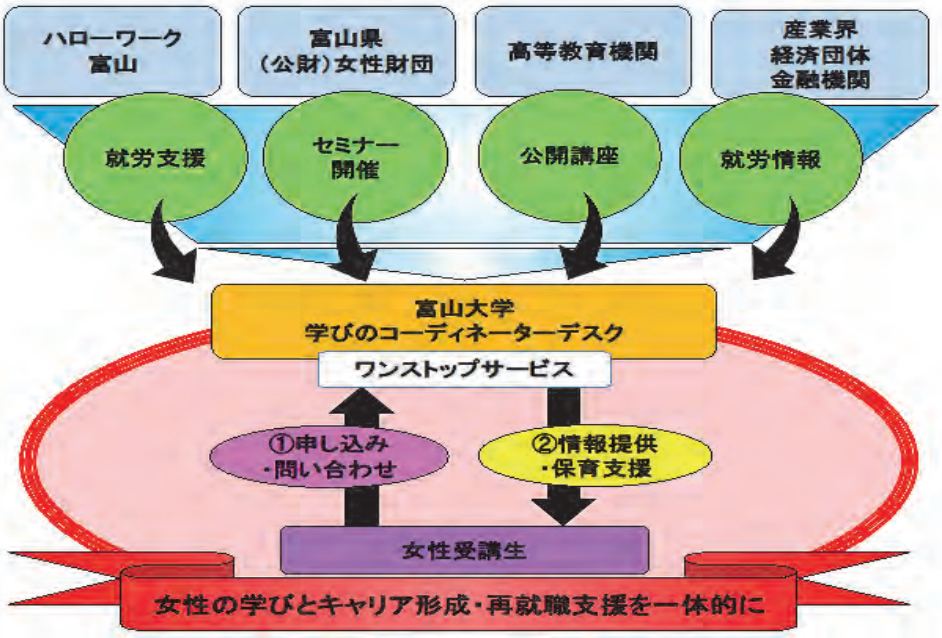
別紙 1

「女性活躍推進調査報告書　平成 29 年度」富山県少子化対策・県民活躍課

問．女性活躍推進のためにどのような行政の支援・施策が必要と考えますか？



「受講生へのオーダーメイド型コースの実際」



別紙 2

女性の再就職パワーアップ応援塾
平成29年度
再就職のために必要な知識やコミュニケーション力などの実践的なスキルの習得をめざします!!
1期 再就職して自分の能力を発揮したい女性
第1回 5/26(金) 9:00~12:00 「自分の適性を知る」 堀 香苗氏
第2回 6/2(金) 9:00~12:00 「社会人としての基礎力を身に付ける」 高木 綾子氏
第3回 6/7(水) 9:00~12:30 「職場見学会」
第4回 6/9(金) 9:00~12:00 「働き方を考える」 裏輪 紀子氏
第5回 6/16(金) 9:00~12:00 「先輩女性との交流会」 浦井 啓子氏
受講修了後の支援 7/14(金) 全日 個別のキャリアコンサルティング 裏輪 紀子氏 高木 綾子氏
ハローワークの求職活動実績になります
会場 富山県民共生センター「サンフォルテ」 富山県富山市湊入船町6-7
時間 9:00~12:00(5回) ※第3回のみ9:00~12:30
対象 再就職して自分の能力を発揮したい女性 30名
受講料 無料
一時保育 5か月~就学前まで 定員あり (保育料各回300円)
申込締切 先着順 (定員に達するまで申し込みを受け付けます) 一時保育は5月12日(金)まで ※申し込み方法は裏面をご覧ください
主催／富山県
受託者／(公財)富山県女性財団

女性の再就職パワーアップ応援塾
平成29年度
再就職のために必要な知識やコミュニケーション力などの実践的なスキルの習得をめざします!!
後期 子育てしながら仕事を始めてみたい女性
第1回 9/21(木) 9:00~12:00 「自分の適性を知る」 長谷川 能扶子氏
第2回 9/28(木) 9:00~12:00 「社会人としての基礎力を身に付ける」 松本 礼子氏
第3回 10/5(木) 9:00~12:00 「働き方を考える」 諸星 裕美氏
第4回 10/12(木) 9:00~12:30 「職場見学会」
第5回 10/19(木) 9:00~12:00 「先輩女性との交流会」 裏輪 紀子氏
受講修了後の支援 10/27(金) 全日 個別のキャリアコンサルティング 長谷川 能扶子氏 裏輪 紀子氏
ハローワークの求職活動実績になります
会場 富山県民共生センター「サンフォルテ」 富山県富山市湊入船町6-7
時間 9:00~12:00(5回) ※第4回のみ9:00~12:30
対象 子育てしながら仕事を始めてみたい女性 30名
受講料 無料
一時保育 5か月~就学前まで 定員あり (保育料各回300円)
申込締切 先着順 (定員に達するまで申し込みを受け付けます) 一時保育は9月7日(木)まで ※申し込み方法は裏面をご覧ください
主催／富山県
受託者／(公財)富山県女性財団

平成29年度 大学コンソーシアム富山 大学連携講演
知の宝庫を開く
第1回 9/12(火) 富山県民会館 611号室
18:00~19:10 富山型デイサービスが地域に果たす役割
富山型と呼ばれるデイサービスについて、映像とともに紹介します。
富山短期大学 福祉学科 教授 関 好博
19:20~20:30 数学の魅力って何？－富山から数学の魅力を発信－
富山で取り組んでいる理数教育の様子の紹介や数学の魅力を体験することによって、数学の楽しさを考えます。
富山国際大学 子ども育成学部 学部長・教授 辻井 満雄
第2回 9/19(火) 富山県民会館 611号室
18:00~19:10 コンクリート構造物の老朽化への備えは大丈夫か
－越中国府波都の駅馬派遣を中心に－
コンクリート構造物の老朽化の基礎知識、日本や富山県の現状、老朽化に対応する点検・診断方法などについて事例を交えて紹介します。
富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 教授 伊藤 始
19:30~20:30 江戸時代の朝鮮通信使と越中富山
－越中国府波都の駅馬派遣を中心に－
「鎖国」時代、朝鮮通信使の来日を越中富山の人々が支えていました。富山に残る新史料・絵図とともにその一端を紹介します。
富山高等専門学校 一般教養科 助教 横山 恭子
第3回 9/26(火) 富山県民会館 302号室
18:00~19:10 熱帯インド洋の雨が富山に雪を降らせる!?
近年の富山では、12月の降水量が大幅に増えています。これは、単なる自然変動の1つでしょうか?それとも・・・
富山大学 大学院理工学研究部 教授 安永 数明
19:20~20:30 悪質商法の現状と対策－富山県の事例を中心に－
私達の日常生活に大きな被害を与える悪質商法について、富山県の事例を中心に、その現状と対策を考えます。
高岡法科大学 法学部 学部長・教授 高倉 史人
対象 一般県民50人 【先着順】 受講料無料
会場 富山県民会館 (富山市新総曲輪4-18) 【9月12日・19日】611号室 【9月26日】302号室
※駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。
申込み締切 9月5日(火)
申込みはFAX(裏面をご使用ください)またはE-mailでお願いします。
FAX:076-441-2456
E-mail:renkei-kouen@consortium-toyama.jp
※定員になり次第締め切らせていただきます。
問合せ先 大学コンソーシアム富山
富山市舟橋北町7-1 (富山県教育文化会館内) TEL:076-441-2455
主催／大学コンソーシアム富山 後援／富山県
裏面をご覧ください

平成30年度
富山大学サテライト講座
"知りたい"をここから～富山大学の"知"と出会う～
多彩な専門分野を有する富山大学の教員陣が、日ごろの研究成果を皆様に向けてわかりやすくお話しします。各講座とも申し込み・受講料は不要ですので、お気軽にご来場ください。
時間 14:00~15:30
定員 各講座とも 80 名程度(事前申込不要・受講料無料)
会場 富山駅前 CiC ビル3階 学習室
受講料無料
第1回 5/19(土) 「持続発展可能な社会を目指す：ごみからの航空機ジェット燃料製造プラント」 大学院理工学研究部(工学) 教授 椿 範立
第2回 6/16(土) 「映像投影の今 ～プロジェクションマッピング・全天周コンテンツ～」 芸術文化学部 准教授 辻合 秀一
第3回 7/28(土) 「高齢社会の眼の病気：最新治療」 大学院医学薬学研究部(医学) 教授 林 篤志
第4回 9/8(土) 「富山での防災－あなたが災害を"まぬがれる"ための基礎知識－」 都市デザイン学部 教授 原 隆史
第5回 10/20(土) 「都道府県の所得格差と『地方消滅』論－富山県の現状は?－」 経済学部 教授 小柳津 英知
第6回 12/15(土) 「くすりの適切な使用方法とは?～最低でも知っておきたいことから最新の研究の話題まで～」 大学院医学薬学研究部(薬学) 教授 藤 秀人
第7回 H31 1/12(土) 「草原の民族音楽」 人間発達科学部 准教授 石井 哲夫
第8回 H31 2/2(土) 「富山県のことば－にし・ひがし－」 人文学部 教授 中井 精一
第9回 H31 3/2(土) 「重力波で宇宙を探る」 大学院理工学研究部(理学) 准教授 山元 一広
お問合せ先
富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 ホームページ http://www.life.u-toyama.ac.jp/

別紙 3

[県内の学び直しの受け皿]

平成30年度前期公開講座一覧

◆五福キャンパス（25 講座）

ページ		講座名	開設期間（時間）	回数（曜日）	受講料（その他）
1	教養	韓国を知ろうステップアップ（前期）	4/9～7/30 (19：00～20：30)	15回 (月)	9,300円 (約3,000円)
2		韓国、その言葉と文化（前期）	4/11～7/25 (15：00～16：30)	15回 (水)	9,300円 (約3,300円)
3		韓国を知ろう（前期）	4/14～8/4 (10：00～11：30)	15回 (土)	9,300円 (約3,000円)
4		変体仮名を学んで『古今和歌集』を読もう	4/18～7/18 (18：00～20：00)	6回 (水)	7,300円 (410円)
5		経営学入門	4/21～7/28 (10：00～11：30)	6回 (土)	6,300円
6		心の内と外 ―心理学から考える―	4/28～8/4 (13：30～15：30)	10回 (土)	8,300円
7		これからの持続可能な都市のデザイン（その1）～デザイン・環境・情報～	5/9～6/6 (18：00～19：30)	5回 (水)	6,300円
8		児童のための絵画指導のあり方	5/9～7/25 (19：00～20：30)	12回 (水)	8,300円 (約2,600円)
9		フランス語で短編小説を読む	5/11～7/27 (14：45～16：15)	12回 (金)	8,300円
10		これからの持続可能な都市のデザイン（その2）～都市・交通・コミュニティ～	6/13～7/11 (18：00～19：30)	5回 (水)	6,300円
11		産業界では欠かせないステンレス鋼およびその他の耐食性材料	6/16～6/23 (15：00～16：45)	2回 (土)	5,300円
12		これからの持続可能な都市のデザイン（その3）～インフラ・防災～	7/18～8/22 (18：00～19：30)	5回 (水)	6,300円
13		アカデミー賞受賞作に見るアメリカ映画の黒人像 ― 『風と共に去りぬ』から『ムーンライト』まで	8/25～9/8 (13：30～16：00)	2回 (土)	5,300円
14	語学	中国語さらなる一歩（会話中心の中国語中級・上級クラス）	4/9～7/30 (19：00～20：30)	15回 (月)	9,300円 (2,268円)
15		ロシア語（中級・上級）	4/10～7/24 (18：30～20：00)	15回 (火)	9,300円 (3,024円)
16		韓国語によるスピーチ（中級）	4/12～7/26 (10：30～12：00)	15回 (木)	9,300円
17		朝鮮半島のことば―文法・作文・聴解（初級Ⅰ）	4/12～7/26 (10：30～12：00)	15回 (木)	9,300円
18		フランス語上級	4/14～7/28 (10：30～12：00)	15回 (土)	9,300円 (3,524円)
19		フランス語中級	4/14～7/28 (13：00～14：30)	15回 (土)	9,300円 (2,808円)
20		Cours de français（Niveau moyen）	5/8～7/24 (13：00～14：30)	12回 (火)	8,300円 (4,350円)
21		ドイツ語会話（初級ステップ2）	5/10～6/28 (17：30～19：00)	8回 (木)	7,300円

県民カレッジ主催講座

平成30年度

ページ		講座名	開設期間（時間）	回数（曜日）	受講料（その他）
22	体験	ドイツ歌曲を歌おう！（その1）	4/14～8/4 (10：00～12：00)	10回 (土)	8,300円
23		親子で楽しむプログラミング Kids編	6/2～7/7 (9：30～16：30) 休憩1時間含む	2回 (土)	7,300円
24		楽しみながら伝える日本の文化・和菓子	6/24～8/5 (13：00～16：00)	4回 (日)	7,300円 (3,000円)
25		食のヨーロッパ	9/13～10/11 (15：00～16：30) 11/1 (14：00～18：00)	5回 (木)	6,300円 (4,500円)

◆高岡キャンパス（4 講座）

ページ		講座名	開設期間（時間）	回数（曜日）	受講料（その他）
26	体験	漆と親しむ ―変わり塗りの器を作る―	4/17～6/1 (18：30～20：30)	12回 (火)(金)	9,300円 (約2,300円)
27		木彫レリーフ（浮彫）制作	4/19～6/28 (18：00～20：00)	10回 (木)	8,300円 (3,500円)
28		精密鋳造技法で作る小物	8/5～9/9 (9：00～12：00) (13：00～17：00)	4回 (日)	10,300円 (約2,000円)
29		高岡銅器の商品開発に挑戦～生型鋳造の多品種一品生産技法の体験―	9/29～9/30 (9：00～12：00) (13：00～17：30)	2回 (土)(日)	7,300円 (約1,200円)

◆杉谷キャンパス（1 講座）

ページ		講座名	開設期間（時間）	回数（曜日）	受講料（その他）
30	体験	楽しい園用植物の育て方・殖やし方 中級編	4/21～10/27 (9：00～11：00)	6回 (土)	7,300円 (1,000円)

【自遊塾-全域】

No.	講座コード番号 講座名 テーマ 開催期間
1	UI 448 U1448 ウォーキング冒険塾B 富山湾海抜0mから立山山頂3003mへ 平成30年6月 9日 ～ 平成30年9月 8日
2	UI 449 U1449 ウォーキング冒険塾A 富山湾海抜0mから立山山頂3003mへ 平成30年6月 2日 ～ 平成30年9月 8日
3	UI 450 U1450 ほっと一息 大人のための絵本deセラピー 平成30年6月 14日 ～ 平成30年12月 13日
4	UI 451 U1451 いきいき富山の健康体力作り(復活編) 平成30年5月 26日 ～ 平成30年10月 13日
5	UI 452 U1452 山に学ぶ：山は夢と冒険とロマン(実践篇) 平成30年5月 26日 ～ 平成30年11月 10日
6	UI 453 U1453 ふるさとの文学めぐり(入門編)Ⅶ 平成30年5月 19日 ～ 平成30年11月 10日
7	UI 454 U1454 生活を楽しくする小物作り 平成30年5月 19日 ～ 平成30年11月 17日
8	UI 455 U1455 えがおのココロふんわりアート 平成30年6月 12日 ～ 平成30年11月 13日
9	UI 456 U1456 蕎麦ロマン：蕎麦を打ち、蕎麦を学び、蕎麦を楽しむ 平成30年6月 3日 ～ 平成30年10月 28日
10	UI 457 U1457 富山の名水探訪(前期) 平成30年6月 9日 ～ 平成30年8月 4日
11	UI 458 U1458 富山の名水探訪(後期) 平成30年8月 18日 ～ 平成30年10月 27日

Ⅱ　富山大学連携オーダーメイド型コース

1．女性のための再就職支援講座

＜教養コース＞

就職（再就職）を希望する女性の支援のために経済・経営・会計・法律に関する新聞記事の解説を通して各分野の基礎知識を習得してもらうとともに，最近の経済・社会情勢やビジネスの仕組みに対する理解を深めることで就職に対する意識・意欲を高めてもらうことを目的として，富山大学地域連携推進機構生涯学習部門と連携し講座を実施した。

文部科学省　平成30年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」

女性のための再就職支援講座

雇用保険受給中の方は，「求職活動実績」として認定されます。

子育てしながら仕事を始めてみたい！再就職して自分の能力を発揮したい！
そんな女性を支援するため，富山大学経済学部の先生方が新聞記事を読み解く，4回シリーズの教養講座を開設します。　最近の社会や経済の動きに理解を深め，キャリアアップしましょう！

第1回　10/3日（水）14：00～16：00
世の中がわかる
経済記事の読み方
中村　和之　先生
経済学部経済学科教授

第2回　10/17日（水）14：00～16：00
仕事に活かせる
経営記事の読み方
馬　駿　先生
経済学部経営学科教授

第3回　10/24日（水）14：00～16：00

企業活動がわかる
会計記事の読み方
廣橋　祥　先生
経済学部経営学科准教授

第4回　10/31日（水）14：00～16：00

働くあなたに効く
法律記事の読み方
岩本　学　先生
経済学部経営法学科准教授

会場は，サンフォルテ（https://www.sunforte.or.jp/）研修室３０４ です。

受講のお申込は，メール，fax，ハガキ　にて受付中です。

件名を，「【申込】女性のための再就職UP支援講座」として，次の①～⑦の事項を記入のうえ，お申込みください。

①希望の回　②氏名　③年齢　④郵便番号・住所　⑤電話番号，メールｱﾄﾞﾚｽ，fax番号
⑥一時保育の有無　⑦個別相談希望の有無

○メール（jyosei@ctg.u-toyama.ac.jp）　**○FAX**（076-445-6063）
○ハガキ（〒930-8555　富山市五福3190　富山大学男女共同参画推進室宛）
（URL：http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/news/manabi-c.html）

受講料・託児は無料です

『出産で一度は離職したけれど、また働きたい！』『新しい仕事に挑戦してみたい！』
・・・だけど、ちょっと不安が・・・
そんな時は、富山大学男女共同参画推進室の「コーディネーターデスク」をご利用ください。
女性がそれぞれのライフステージで、学び直しやスキルアップを図りながら安心して働き続けることができるように相談・支援を行っています。どうぞ、お気軽にご相談ください。
（平日：9～15時　電話：076－445－6083　E-mail：yota2350@ctg.u-toyama.ac.jp　担当：須摩）

主催　国立大学法人富山大学　男女共同参画推進室，地域連携推進機構
後援　大学ｺﾝｿｰｼｱﾑ富山（産学官金ﾈｯﾄﾜｰｸ会議），富山県，富山県商工会議所連合会
（公財）富山県女性財団，ハローワーク富山

第１回 10/3(水)

～　世の中がわかる経済記事の読み方　～

経済学部経営学科　教授　中村 和之 先生

参加者 19 人

◆講義の内容

◆新聞の経済記事を通して，世の中の動きをより深く理解するための力を身につける。
◆難解に思える経済用語も，新聞記事は“読めば誰でもわかるように”工夫されている。
◆これから注目すべきキー・ワードやタイムリーな話題など，身近なことがら例に挙げながら，新聞記事の読み方のポイントを学ぶ。
◆インターネットではなく，「新聞紙」で経済記事を読むことで，自分の知識や教養を深めながら貴重な情報源として活用していくことが大切。

参加者の◆感想◎質問

◆新聞の読み方の講義は，難しい言葉が沢山出てくるのだろうと思っていたが，とてもわかりやすく教えて下さり，久しぶりの授業にも身が入った。(20 代)
◆経済のことだけでなく，社会で繋がることの大切さに改めて気付かされた。(30 代)
◆身近な新聞の利用の仕方がわかり，毎日の生活に生かせそうだと思った。(40 代)
◆先生のお話が分かりやすく，受講して本当に良かった。(50 代)
◆先生の講座がまたあれば，受講したい。「もっと学んでみたい」と思った。(50 代)

◎「富山市は，どんな理由で『SDGs』未来都市に選ばれたのですか？」
◎「日経新聞を試読したけれど続きません。どうしたらよいですか？」

「再就職支援講座」第１回は，19 人（育児休業中５人，求職活動中６人，就業中６人，その他２人）が，「知識や教養を深めたい」，「仕事やキャリアアップに役立てたい」，「経済ニュースに興味がある」などの目的で受講されました。

講座開講のお知らせ（ポスターの掲示やリーフレットの配布）を開始して約１ヶ月，職場（県内の協力企業）からの情報提供やハローワーク窓口からの案内で受講された方が多かった。

託児のサービスには４人のご利用があり，「初めて子どもを預けましたが，（子どもも親も）大丈夫だということがわかり，とても良い経験になりました」というお声をいただきました。

第２回 10/17(水)

～　仕事に活かせる経営記事の読み方　～

経済学部経営学科　教授　馬　駿 先生

参加者 17 人

◆講義の内容

◆経営学を学ぶ目的は，様々な経営活動の論理性を理解する能力を高めること。
◆経営記事を読む時は，常に疑問を持って頭の中にストーリーを描き，最後に得られた解決方法を自分の仕事に活かすとよい。
◆新聞は“読む”のではなく，記事の見出しやグラフを“チェック”することが大切。
① What（何が起こっているのか）＝情報の収集
② Why（なぜ？どうして？と記事の裏側を読む）＝情報の分析
③ How（問題の解決方法を導き出す）＝情報の活用
◆「女性が働きやすい社会になるためには，先ず会社の仕組みを変えること（＝就労時間から業績評価へなど）が必要」
◆先生は机の間を回りながら,「この記事には何が書かれている？」「それはどうして？」「他には？」と，次々と受講生に質問。
積極的に手を上げて発言される方もあり，大変に活気のある講座となった。

◆参加者の感想

◆実際に記事を読み，チェックしながら考えるきっかけになった。(20 代)
◆新聞の情報からどう考えを展開させていけば良いか，とても勉強になった（30 代）
◆今後，時事ニュースにもっと興味をもつことができそう。(30 代)
◆始めて参加したがとても良かった。(30 代)
◆考えさせられる機会を提供して頂いた（40 代）
◆機会があればまた受講したい（60 代）

第 2 回は，17 人（育児休業中 2 人，求職活動中 9 人，就業中 6 人）が，前回と同じく「知識や教養を深めたい」「仕事やキャリアアップに役立てたい」という目的で受講されました。

受講者が真剣に記事を読み込んでいると，先生は笑顔で「新聞は“読む”のではなく見出しやグラフを“チェック”するのですよ」「チェックしながら，何が起こっているのか？それはなぜ？どうして？と記事の裏側を読むのです」「そこから問題の解決方法を導き出して，今後の生活や仕事に役立てましょう」とアドバイスを下さいました。

熱のこもった講義が続き，先生が予定してくださった「女性の働き方について，参加者同志のディスカッション」は行えず，大変残念でした。

第３回 10/24(水)　～　企業活動がわかる会計記事の読み方　～

経済学部経営学科　准教授　廣橋　祥 先生

参加者 21 人

◆講義の内容

◆一般的な「新聞記事の読み方」ではなく，会計に関する記事を材料（きっかけ）にして，“教養としての会計学”について学ぶことを目的とする。
◆大手コンビニエンスストアの決算内容，地元企業富山化学の富士フィルムによる子会社化，日本最大の小売業イオンの事業内容など，身近な企業の売上げや業績内容を取り上げた新聞記事から，企業の会計について読み説く。
◆「キャッシュレス決済」を限定とした飲食店の出店，買い物時に付与される「ポイント」の消費者・企業両者にとっての意外な「リスク」等，全て会計処理と深い関わりがある。
◆企業経営に「会計」がどれほど重要な役割を担っているか，新聞記事を通して学んだ。
◆新聞には会計・財務の理解に役立つ専門用語の解説が多数掲載される。要チェック！
◆所々穴埋め式のレジュメに，一生懸命に板書を書き写す人など，積極的に講義に参加。

参加者の◆感想◎質問

◆会計にとても興味がひかれ，面白かった。（20 代）
◆図式・記事を通してわかりやすく話していただき，頭を使ういい機会になった。（20 代）
◆自分が再就職する時に，入りたい企業情報のチェックに役立てたいと思う。（30 代）
◆会計の役割について研究者の考えを知ることができた。疑問もわいて面白かった（40 代）
◆大変良い内容で楽しかった。大学に行って学び直したいと思った。（50 代）
◆このような事業が，単年度でなく，来年度以降もシリーズ化されると有難い。（60 代）
◎クラウドファンディングで集められたお金の会計報告は，どのようになっているか？

第３回は，21 人（育児休業中２人，求職活動中９人，就業中３人，その他７人）が受講されました。

私たちに身近な企業の売上げや業績内容を取り上げた新聞記事を参考資料に講義が進められ，企業経営にとって「会計」がどれほど重要な役割を担っているか新聞記事を通して学びました。配布されたレジュメは，所々穴埋め（記入）式になっていたため，一生懸命に板書を書き写す人など，積極的に講義に参加されました。

「大学に行って学び直したいと思った」「（このような事業が）単年度でなく，来年度もシリーズ化されると有難い」というお声に，受講者の“学び”への意欲の高さが伺えました。

第４回 10/31(水)

～　働くあなたに効く法律記事の読み方　～

経済学部経営法学科　准教授　岩本　学 先生

参加者 26 人

◆講義の内容

◆新聞で目にする「被告（民事事件の原告)」と「被告人（刑事事件の加害者)」の違い，裁判に深く関係する「訴状」や「時効」の意味，裁判官の心を左右する「証拠」の重要性などについて，判りやすいスライドや新聞記事を通して，法律（知識）が私たちの日々の生活に密着に結びついていることを学んだ。

◆また「成人年齢の引き下げ」や「配偶者居住権」,「正規社員と非正規社員の賃金格差」「空き家・空地問題」などタイムリーな話題・問題についても詳しく解説いただいた。

◆先生のスピード感溢れる軽妙な語りに加え，突然教室に登場した可愛いウサギの縫いぐるみ，TV のクイズ番組さながら BGM つきパワーポイントの効果は抜群。「法律は難しい･･･（＞＜)。」という先入観はすっかり取り払われ，「へぇー」「ふーん」という頷きとともに，あちらこちらから笑い声も･･･（＾＾)。

◆参加者の感想

◆最近の法律ニュースをわかりやすく学べた。(20 代)

◆具体的な事例を通して話を聞けたので，とてもわかりやすかった。(20 代)

◆今後，情報収集をする上で，とてもためになった。(30 代)

◆法律と生活の関わり，法律が生活に生かせることが理解できた。(40 代)

◆社会との接点を持てる内容が良かった。実際に役立つことがあると思った（40 代)

「再就職支援講座」最終回となる第４回は，受講者が最も多く 26 人（育児休業中３人，求職活動中 11 人，就業中７人，その他３人）で，前回受講された友人から「面白くてためになる新聞の読み方講座」の評判を聞いて申し込まれた方もいらっしゃったようです。

講師の先生が選んで下さった身近な話題，女性に関係が深く，興味をひく話題や話術により，「法律は難しい･･･」という先入観はすっかり取り払われ，最後には笑い声さえ聞こえてきました。

第１回から第４回まで合わせて，託児の利用は 12 人でした。1 歳未満のお子さんもお預かりできる無料の託児サービスは，子育て中のお母さん方に大変好評でした。

2．女性のためのキャリアアップ支援講座

＜キャリア支援コース＞

自己理解，コミュニケーションコーチング及びプレゼンテーション能力開発により，自分自身の適性や能力を把握し就職に対する方向付けや意欲を高めてもらうことを目的として，講座を実施した。

文部科学省　平成30年度「男女共同参画推進のための学び･キャリア形成支援事業」

女性のための キャリアUP支援講座

雇用保険受給中の方は，「求職活動実績」として認定されます。

育休復帰に向けてブラッシュUPしたい！子育てしながら仕事を始めたい！再就職して能力を発揮したい！

そんな女性を支援するため，4回シリーズでキャリアUP支援講座を開設します。

第1回　12/5日（水）14：00～16：00
自分の能力を発揮したい！生かしたい！自分の才能の見つけ方①

第2回　12/19日（水）14：00～16：00
自分の好きなことに仕事のタネはある自分の才能の見つけ方②

オフィスヤマグチ代表　プロコーチ　山口ひとみ先生

第3回　平成31年 1/16日（水）14：00～16：00
自分の感情をコントロールする自分の才能の使い方①

第4回　平成31年 1/23日（水）14：00～16：00
プラス思考のつくり方
自分の才能の使い方②

㈱ル・ソレイユ代表取締役　メンタルコーチ　吉谷奈艶子先生

会場は，サンフォルテ（https://www.sunforte.or.jp/）研修室３０４ です。

受講のお申込は，メール，fax，ハガキ　にて受付中です。

件名を ，「【申込】女性のためのキャリアUP支援講座」　として，
次の①～⑦の事項を記入のうえ，お申込みください。

①希望の回　②氏名　③年齢　④郵便番号･住所　⑤電話番号，ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ，fax番号
⑥一時保育の有無　⑦個別相談希望の有無

〇メール（jyosei@ctg.u-toyama.ac.jp）　**〇FAX**（076-445-6063）
〇ハガキ（〒930-8555　富山市五福3190　富山大学男女共同参画推進室宛）
（URL：http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/news/manabi-c.html）

受講料・託児は無料です

『出産で一度は離職したけれど、また働きたい！』『新しい仕事に挑戦してみたい！』
・・・だけど、ちょっと不安が・・・

そんな時は、富山大学男女共同参画推進室の「コーディネーターデスク」をご利用ください。
女性がそれぞれのライフステージで、学び直しやスキルアップを図りながら安心して働き続けることができるように相談･支援を行っています。どうぞ、お気軽にご相談ください。
（平日：9～15時　電話：076－445－6083　E-mail：yota2350@ctg.u-toyama.ac.jp　担当：須摩）

主催　国立大学法人富山大学　男女共同参画推進室
後援　大学ｺﾝｿｰｼｱﾑ富山（産学官金ﾈｯﾄﾜｰｸ会議），富山県，富山県商工会議所連合会
（公財）富山県女性財団，ハローワーク富山

第 1 回
12/ 5（水）

～　自分の能力を発揮したい！　～
自分の才能のみつけ方　①

オフィスヤマグチ　代表　プロコーチ　山口ひとみ 先生

参加者
29 人

◆講義の内容

◆山口先生が提唱される　～育自のための小さな魔法～　に基づいて。
「自分の人生を振り返り・・・，見つめなおして・・・，語る」グループワークを体験。
◆はじめに４つの約束＝　① 自分を大事にしよう　② 相手を大事にしよう
③ お互いを大事にしよう　④ この場を大事にしよう
◆自己紹介（ニックネームでも OK）からスタート！
（初対面でも，とても安心できる空間）
◆自分の人生（０歳から現在まで）は，何歳の頃にどんなことがあったかな。山あり谷あり，いろいろ思い出しながら，その時，自分の人生に対する満足度はどうだったかな？
◆「高い？」「低い？」「まぁまぁ，平均かな？」と振り返り，それを「人生」に見立てた一本の横線（人生の横軸）に，アップ・ダウンの曲線で書き込み，見つめなおしをします。
◆その後，４人１組で，お互い自分の「人生の満足度曲線」について“語り”ました。
◆最後は**「ほめほめシャワー」**：お互いの「良い点や魅力」について褒めあう時間（＾＾）。

◆参加者の感想

◆普段は子どもと過ごすばかりなので，大人の知らない方と沢山話せるのが楽しかった。（30 代）
◆座学でないセミナーは初めてです。人との会話が楽しめてよかった。（30 代）
◆自分を振り返り，「これからどう生きたいのか」気づく機会が持てました。（30 代）
◆自己を見つめ，新たな発見がありました。（50 代）

第 1 回は，「いま就職活動中だが自分を見失っている」，「自分の可能性を探したい！」，「新しいことに挑戦したい！」など，日々の生活に変化や前進を求めて 29 人（育児休業中 5 人，求職活動中 10 人，就業中 7 人，その他 7 人）が受講されました。

「自己成長は“自分発見”から」というワークでは，まずライフライン（人生満足度曲線）に沿って自分の人生を振り返り，「今の自分は過去の経験の積み重ねでできている」ことを改めて実感しました。ほとんどの受講者が初対面でしたが，お互いに“４つの約束”に守られながら，とても温かく安心した雰囲気の中で自分自身を見つめ直すことができました。

※今回より，お申込みが 30 人を超えて，急きょ会場を 2 部屋に広げ，保育士を 2 名増員しての開講となりました。

第２回
12/19(水)

～　自分の能力を発揮したい！　～
自分の才能のみつけ方　②

オフィスヤマグチ　代表　プロコーチ　山口ひとみ 先生

参加者
24 人

◆講義の内容

◆人生経験の中で感じる「自己概念」“私は○○な人間（自分が自分についてどう見ているか）”を今後のキャリアに結びつけるため，「キャリアの視点で人生を語るワーク」を体験。

◆「得意なこと」を自分で納得した上で，選択して生きること。
（そうしないと，上手くいかないことがあった時，人のせいにしてしまうから）

◆自分の中のワクワクした感覚，好きという気持ち，内側からの情熱，エネルギーに正直になることで，選ぶべき道（仕事・職業）は必ず見えてくる。

◆それぞれ持ち寄った「私の好きなもの」を見せ合いながら，どこがどんなふうに好きか，その魅力やそう感じる理由なども紹介。あちこちから「わー素敵！」「すばらしい！」と拍手や歓声が上がり，会場は，にこにこ・ワクワク“ほめほめシャワー”で溢れました。

「キャリア」の概念はひろがっている。

◆「広義のキャリア」は，働くことに関わるさまざまな経験や能力・行動・成果・責任など意思や判断の積み重ね　⇒⇒⇒そこには，仕事を通して“常に発展し続ける自分”がいる！

◆それは「これから，自分がどう生きていきたいか？」ということにつながる。
そのためにも**「今の自分は，どんな“財産”を持っているか？」の棚卸しが重要。**

◆参加者の感想

◆人の話を聞くことによって，自分について発見があった。（30 代）

◆自分の好きなことに真剣に取り組まなければ，仕事に繋がらないと改めて感じた。（30 代）

◆これから自分がどうしていきたいかを考えるきっかけになったのがよかった。（40 代）

◆自分を見つめ直すことで，今まで子育てなどで諦めていたことを「仕事に活かしたい」という思いを再認識することができた。（40 代）

◆すごく楽しく，先生の話が，自分の身体の内側に浸み込んだように感じた。（40 代）

◆いろんな方との会話やふれ合いを通して，人とのつながりの心地よさを感じた。
その気持ちを忘れずに，明日への“元気”につなげたい。（50 代）

第２回は，24 人（育児休業中２人，求職活動中９人，就業中６人，その他７人）が，「午前中は仕事と学校の参観日。今からは自分のための時間にしたい」，「ワクワクしている。今日は何が始まるかドキドキ！」等それぞれの思いで受講されました。

「自分の中のワクワクした感覚や情熱，エネルギーに正直になると選ぶべき道が見えてくる。もし既存の仕事の中にそれがなければ，自分で新しい仕事を作ってもいいのでは？」

就職活動中のみなさんの心には，先生のこの言葉がどのように響いたでしょうか？

※寒さが厳しくなり，お子さんやご自身の病気・体調不良でやむなくキャンセルされた方が７名いらっしゃいました。

第３回
1/16(水)

～　自分の感情をコントロールする　～
自分の才能の使い方　①

㈱ル・ソレイユ代表取締役　メンタルコーチ　吉谷奈艶子 先生

参加者
35 人

◆講義の内容

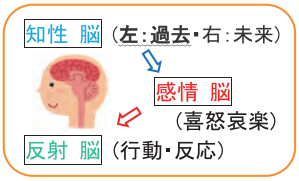
◆心理学と大脳生理学から考案：SBT（スーパーブレイントレーニング：しあわせ脳の法則）に基づいて

《今日のゴール》　①感情の仕組みを知り，自分の感情に気づく
②感情をコントロールし，振り回されない自分を作る

３つのルール　①思ったことをそのまま話す　②否定せずに聞く　③楽しむ

※「感情をコントロールする」とは，感情をなくすことではない（自分の感情を大切に！）

◆感情で思考と行動を決めている



① 人は脳で考え，脳で感じ，脳で身体を動かしている
② 感情が，思考と行動を決める・・・行動の源は「感情」
③ 出来事や人に，もともと意味はついていない

難しい　大変　できない　疲れた　忙しい　ムリ・・・etc　× NG ワード

＊全ては過去の経験から，思い込みで勝手に意味をつけているだけ
＊過去は未来につながっていないから，「未来に不安はない」

◆自分の感情に気づく：感情を無視しない（うれしい時，イライラする時・・・）
◆脳の使い方を知る：何も考えなければ，感情に振り回されるだけ（どう思うか？を考える）
脳は「思えた」だけで実現しようとする ⇒どんな気持ちで毎日を過ごしたいか決めよう！
◆感情を「不快」から「快」に：好きな人に会う。好きな物に沢山ふれる。好きな場所へ行く。意識して「言葉（無意識のネガティブな口ぐせ）」を変えてみる。

◆参加者の感想

◆育児中で，まさに感情に振り回される生活を送っていたので，とても役立ちました（30 代）
◆毎日，不安や疲労感で押しつぶされそうになるが，今日は自分で前向きになる言葉を決めることができました。実行します！（40 代）
◆子どもの大学受験が迫ってきて「不安」しかなかったのですが，「大丈夫」と言葉に出して，明るい春を迎えたいと思います。（40 代）

「自分の感情をコントロールする」という講座のタイトルに魅かれた方が多く，第３回開講直前には 49 人もの方からお申込みをいただきました。うち，当日は 35 人（育児休業中６人，求職活動中 14 人，就業中 13 人，その他２人）が受講されました。

仕事や家事に追われて「早く！早く！」と，ついつい子どもを叱ってしまう・・・。多くの人がそんな毎日に悩んでいるようです。心理学と大脳生理学から考案された SBT（しあわせ脳の法則）に基づいて，「感情をコントロールする」とは「感情をなくすことではなく，逆に自分の感情をもっともっと大切にすること」と教わり，気持ちが楽になった方も多いのではないでしょうか。元気いっぱいの先生の講座は，笑い声が絶えませんでした。

第４回
1/23(水)

～　プラス思考のつくり方　～
自分の才能の使い方　②

㈱ル・ソレイユ代表取締役　メンタルコーチ　吉谷奈艶子 先生

参加者
30 人

◆講義の内容

《今日のゴール》本当のプラス思考を知り，自分の才能を発揮できるように意識する
＊自分の感情を“快”にするのも“不快”にするのも「言葉」次第。
◆プラス思考にならなければ？ ･･･ 大切なのは，自分の感情に気づいて認めること。
（感情にフタをしない。無理やりプラス思考にならなくてもいい）
「プラス感情」になれば思考と行動が変わる ⇒ どんな気持ちで毎日を過ごしたいか決める
◆「言葉」を出す早さを変える：マイナス言葉をプラス言葉に変える　３秒以内に！
「はい！」「Yes ！」「喜んで！」考えずに言葉を出し行動する
（考えると身体が重くなるから）
◆「表情」と「行動」を変える：表情は常に笑顔で（＾＾）･･･作り笑いでも脳は勘違いする
プラス思考を維持するには，行動を「習慣化」する（感情は後からついてくるもの）
◆「プラスのイメージ」を続ける：５年後の自分（楽しい未来）を想像する⬇
「こうなったらいい➡こうなる➡こうする➡こうやる！」いろんな人に語り続ける⬇
＊脳は，現実かユメか区別がつかずに勘違いする　（十回，口に出すと夢が「叶う」）
◎あなたの才能を発揮するために，今日から何を変えていきますか？

◆参加者の感想

◆意識を変えることで，自分が変わっていく気がした。(20 代)
◆気持ちが前向きになれました。元気になれました！！（30 代）
◆グループワークでいろいろな人の話を聞け，自分の考え以外のものに気づけた。(40 代)

いよいよ８回コースの最終回。後半第４回は，30 人（育児休業中６人，求職活動中 13 人，就業中８人，その他３人）が受講されました。

本当の意味で「感情をコントロールする方法」や自分の才能を発揮するための「プラス思考の作り方」を学ばれた皆さんの心の中には，「昨日までの自分とは，ちょっと違う自分」が芽生えていませんか。子育て中の忙しさの中で，しばらく忘れかけていた何か，諦めかけていたあなたにとって大切な何かを，思い出すきっかけになればと願います。

※後半は，特に「託児」のお申込みが多く，のべ 44 人のお子さんにご利用いただきました。

3．受講者（各回）アンケートの結果

全８回の支援講座のうち，前半４回「女性のための再就職支援講座：富山大学経済学部の教授等による新聞の読み方（教養講座）」は，「子育てをしながら仕事を始めてみたい！」「再就職して自分の能力を発揮したい！」という女性を対象に受講者を募った。また，後半４回「女性のためのキャリア UP 支援講座（グループワーク形式のコーチング）」では，ポスターやリーフレット（チラシ）に「育休復帰に向けてブラッシュ UP したい女性のための支援講座」であることを追記して参加を呼び掛けた。

前半・後半合わせて 20 代～ 70 代まで 89 名の受講申し込み（登録）があり，欠席者９名（登録後，講座開催前に再就職が決定して止む無くキャンセルされた方，病気やケガなどで１回も受講できなかった方）を除くと，80 名（のべ 201 名）が受講された。

ひとりあたりの受講回数は，全８回のうち７回受講者＝１名，６回＝３名，５回＝３名，４回＝８名，3 回＝ 16 名, 2 回＝ 22 名, 1 回＝ 27 名。また, 回数に関わらず前半･後半どちらも受講された方は 14 名，前半のみ受講は 26 名，後半のみ受講は 40 名だった。

各回，講座終了後にアンケートを実施し，受講者の年齢や職業，現在の就業状況，講座受講の目的や満足度，育児休暇中のキャリア UP の取り組み状況などを把握するとともに，「キャリア UP や再就職に向けて今後学びたいこと」についてニーズ調査を行った。

各回の受講者数，アンケート回収数，並びに託児利用者（児童）数は以下のとおり。

（前半）「女性のための再就職支援講座」（新聞の読み方教養講座）　　のべ数（人）

	第１回	第２回	第３回	第４回	合計
	10 月 3 日	10 月 17 日	10 月 24 日	10 月 31 日	
受講者数	19	17	21	26	83
アンケート	17	14	16	23	70
託児人数	4	2	2	4	12

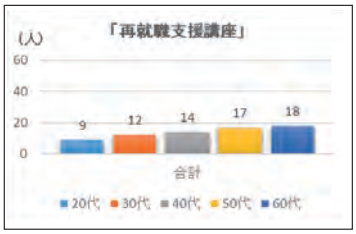
（後半）「女性のためのキャリア UP 支援講座」（グループコーチング）　　のべ数（人）

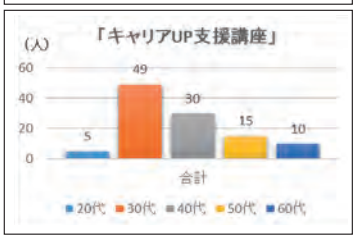
	第１回	第２回	第３回	第４回	合計
	12 月 5 日	12 月 19 日	1 月 16 日	1 月 23 日	
受講者数	29	24	35	30	118
アンケート	29	20	33	27	109
託児人数	13	7	13	11	44

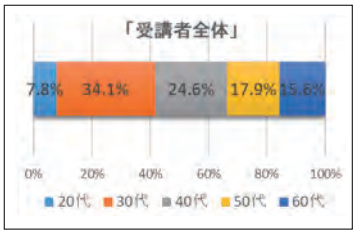
（合計）　　のべ数（人）

	前半	後半	合計
	10 月	12 月・1 月	
受講者数	83	118	201
アンケート	70	109	179
託児人数	12	44	56

＜年齢＞







1）あなたご自身についてお伺いします。

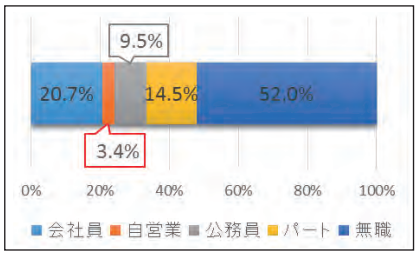
前半「再就職支援講座」は, 講座の周知（ポスターの掲示やリーフレット（チラシ）の配布）から開講までの期間が限られていたが, ハローワークの雇用保険(受給)相談窓口等で案内を受けた求職活動中の方, 職場(本事業の協力企業）から情報提供を受けた育児休暇中の方を中心に 20 ～ 60 代まで幅広い年齢層の女性が受講され，特に 50 ～ 60 代がのべ 35 人（50%）を占めた。(40 代以上 70%)。

後半の「キャリア UP 支援講座」は, 30 ～ 40 代の申し込みが増え（約 6 割），特に 30 代がのべ 50 人近く受講された。

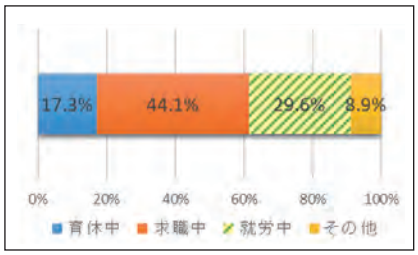
前半・後半を合わせると，20 代 14 名（7.8%），30 ～ 40 代 105 名（58.7%），50 ～ 60 代 60 名（33.5%）だった。

当初，「再就職を希望する失業中の方」と「育休中にキャリア UP を目指す方」を対象に募集を開始したこともあり, 受講者の職業は「無職」

＜職業＞



＜勤務状況＞



が 93 名（52.0%）と半数以上，勤務状況についても「求職活動中」が 79 名（44.1%）で最も多く，「育児休暇中」が 31 名（17.3%）。

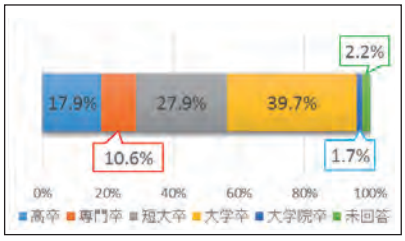
回数を重ねるうち，特に後半「働いていても受講できますか？」「講座のテーマに興味があります。仕事をしていたら対象外ですか？」という電話やメールのお問合せ，あわせて個別相談のご要望が増えたため，どのような状況の女性にも受講いただくこととした。

その結果，現在はパートなど短時間で勤務中だが，お子さんの成長などライフステージの変化に合わせて近い将来フルタイムへの転職を希望されるなど「働きながら転職を考える方」にも受講いただき，最終的には「就労中」がのべ 53 名（29.6%）となった。

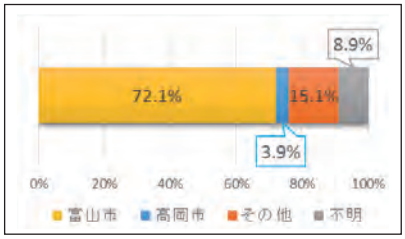
受講者の学歴は，147 名（82.1％）が専門学校卒以上，128 名（71.5%）が短大卒以上。

居住地は，会場のある富山市が 129 名（72.1％）と最も多いが，20 ～ 40km 離れた他市町からも，のべ 34 名（19.0%）の参加があった。（高岡市 7 名　射水市 8 名　滑川市 5 名　砺波市 4 名　魚津市 3 名　上市町 3 名　立山町 2 名　入善町 2 名で，いずれも延べ人数）

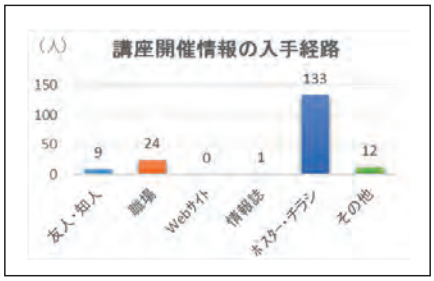
＜学歴＞



＜居住地＞

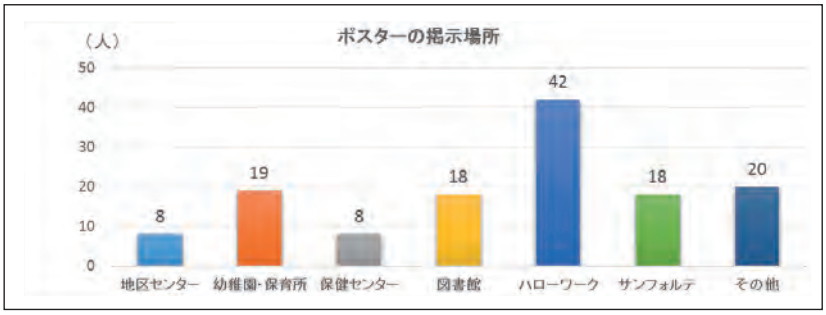


2）今回の講座をどのようにお知りになりましたか。



講座開催情報の入手経路（受講のきっかけ）は，ポスターやリーフレット（チラシ）で講座の開催を知った方が最も多く 133 名（74.3%），そのうち，ポスターの掲示場所やチラシの入手先としては，「ハローワーク」が 42 名（31.6%）で最も多かった。後半に限り，「幼稚園・保育所」が 19 名あった（後半の受講者の 16.1%）。これは富山市内の私立幼稚園の保護者ひとりひとりに，直接リーフレットが届くように配布を試みた結果と考えられる。その他の入手先としては，図書館・地区センター・保健センター等子育て中のお母さんや求職活動中の方が比較的よく通われる施設が多かった。

「職場からの案内」は 24 名（全体の 13.4％）あり，これは県内協力企業で育児休暇取得中の社員（職員）の方だった。

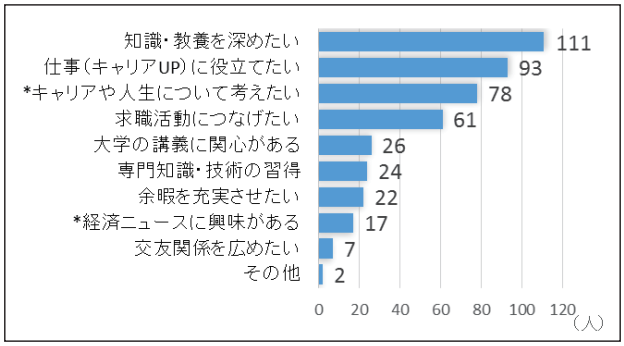


3）今回どのような目的で講座を受講されましたか（複数回答可）

受講の目的については，①知識・教養を深めたい　②仕事（キャリア UP）に役立てたい　③キャリアや人生について考えるきっかけにしたい　④求職活動につなげたい

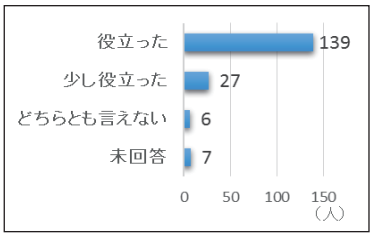
以上４つが特に多かった。

（ただし，③は後半のみに設けた選択肢）

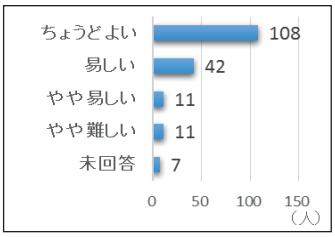


＊「経済ニュースに興味がある」は，前半のみに設けた選択肢

4）上記目的達成のために，今回の講座は役立ちましたか。

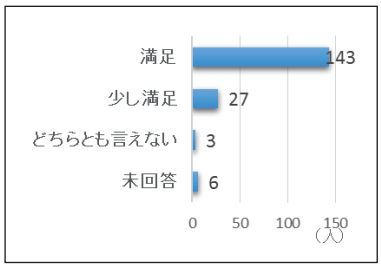


5）今回受講された講座の難易度はいかがでしたか。



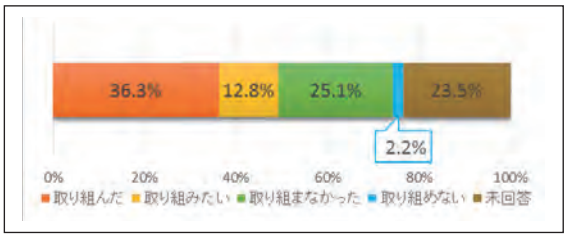
受講目的の達成度は，「役立った」139 名（77.6%）と「少し役立った」27 名（15.1%）を合わせて 166 名（92.7%）から高い評価を得た。難易度については，「ちょうどよい」が 108 名（60.3%），「易しい」が 42 名（23.5%）だった。

6）今回受講された講座に対する満足度はいかがでしたか。



「満足」143 名（79.9%）と「少し満足」27 名（15.1%）を合わせると 95.0%の受講者から高い評価を得た。満足度が高かった理由として，前半第 1 回には「新聞の読み方は難しい言葉が沢山出てくると思っていたが，分かりやすく面白く教えて下さり，久しぶりの授業にも身が入った（20 代）」，後半第 3 回には「今，育児中でまさに感情に振り回される生活を送っていて悩んでいたので，とても役に立ちました。また次回を楽しみにしています（30 代）」，後半第 4 回には，「今の自分に必要な講座内容でした。今日から変われる気がしています !!（30 代）」等の声が寄せられた。

7）あなたは，育児休暇中（過去又は現在）に，自らのキャリアアップをはかるための取り組みをされましたか。



本支援講座の企画当初，「富山県内 10 社アンケート」（資料 9）では，「育児中や子育て中の女性は家事や育児に追われ，このような学びのための講座に参加することは現実的に難しいのではないか」（そのため）「あまり需要がないのではないか」また，「所属する会社からの職場復帰支援（情報提供）があれば十分ではないか」などの予想やご意見が多数あった。

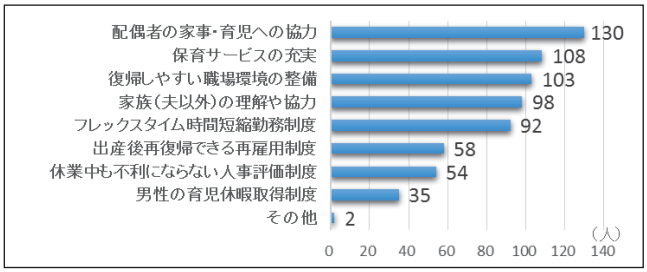
しかし，募集を開始してみると多くのお申込みがあり，特に後半は，「託児希望」が多く，当初予定した定員（10 名）を超えたため，急きょ保育士を 2 名追加し，託児室も 2 部屋を用意して無事開催することができた。

この問 7 に対しても，30 ～ 40 代を中心に半数近い 88 名（49.1%）が「育児休暇中に，キャリア UP を図るための取り組みをした」または「今後取り組みたい」と回答された。これにより，富山県の調査結果（平成 29 年度女性活躍推進調査報告書）と，同様に「結婚・出産を機に一度職場から離れた女性は，再就職やキャリア UP への意欲が大変に高い」ことがわかった。具体的な取り組み内容としては，通信教育やインターネットでの資格取得（秘書検定・語学・パソコン・ローンアドバイザー・ケアマネージャー等）が最も多く，中には「魚のさばき方教室」や「この講座に参加したこと！」という回答もあった。

一方，「取り組まなかった」「取り組めない」理由としては，実行委員会で出された予想に近く，「それどころではない」「子育てや家庭の事情で気持ちはあったが取り組む余裕がなかった」「睡眠優先」「目標がみつからなかった」という回答があった。

特に 50 ～ 60 代で「取り組まなかった」と回答する人が多く，その理由として「家族（義母）の協力が得られなかった」「転勤族だった」「すぐに仕事に復帰した」「託児が無かった」「育児休暇制度が無かった」等のほか，「私たちの時代はそういう時代ではなかった」という声もあった。

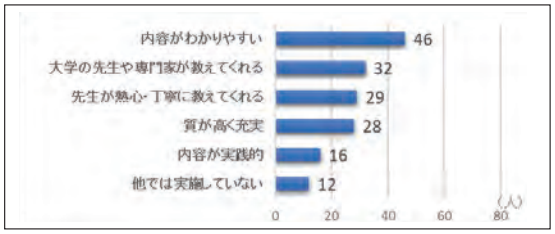
8）仕事と育児（子育て）を両立するためにどのような課題があると思われますか。（複数回答）



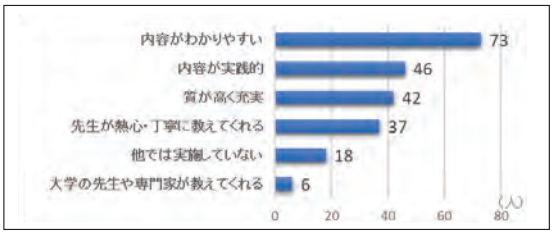
「配偶者の家事・育児への協力」が最も多く，「育メン・家事ダン」「育ボス」を育成するための支援が必要であることがわかる。次いで「保育サービスの充実」や「復帰しやすい職場環境の整備」，「（夫以外の）家族の理解や協力」が課題としてあげられた。フレックスタイム（時間短縮）制度については半数以上が課題としている。ただ，「男性の育児休暇取得制度」は，制度自体がまだそれほど周知されていないためか，思ったより少なかった。8 つの選択肢「全て」に〇をつけた人が何人もいた。

9）今回の講座を受講されて「良いと感じられた点」についてお答えください。（複数回答）

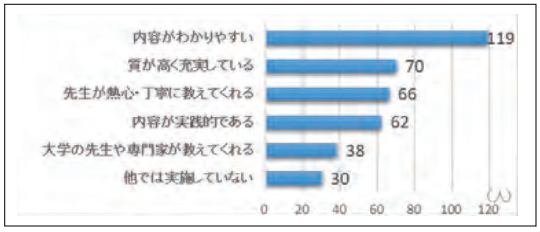
＜講座内容（前半）＞



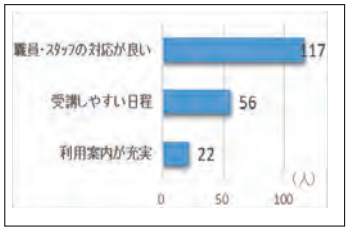
＜講座内容（後半）＞



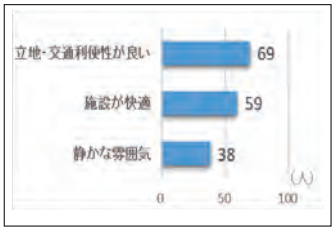
＜講座内容（全体）＞



＜運営状況＞



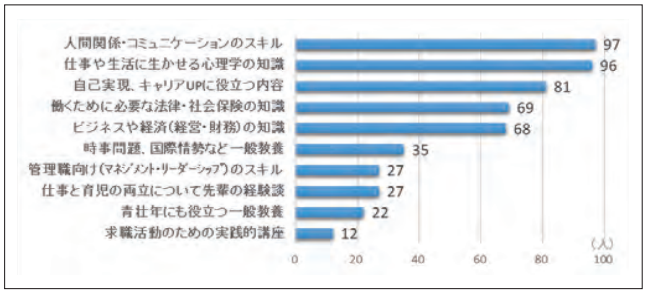
＜施設状況＞



今回実施した２つの支援講座は，前半（大学教授等による新聞の読み方教養講座）・後半（メンタルトレーナ等によるグループコーチング）ともに「内容がわかりやすかった」という点で高評価を得られた。合わせて大学の先生や専門家に熱心・丁寧に教えてもらえたこと，また，講座の内容が専門的かつ実践的であったことなども受講者の満足度の高さにつながったものと思われる。

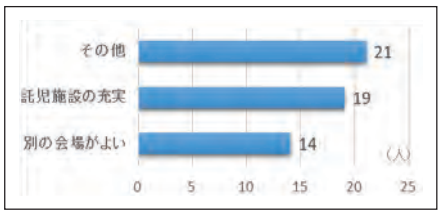
10）今後，キャリアアップや再就職に向けて，どのようなことを学びたいですか。
また，講座の開催日時や会場についてはいかがですか。（複数回答可）

＜講座内容＞



受講者の半数以上が，①人間関係・コミュニケーション能力向上のスキルと②仕事や生活に活かせる心理学の知識等の「ヒューマン・スキルやメンタル面の学び」を選択されたことが大変に興味深い。次いで③自己実現・キャリアＵＰに役立つ内容は，メンタル面・実践面いずれにも関連する内容であり，続いて④働くために必要な法律制度・社会保険の知識　⑤ビジネスや経済（経営・財務）の知識等，働くことや仕事に直接役立つ実務的な内容・スキルの要望が多かった。育児休暇中の方からは，仕事へ復帰する時の不安解消のため「頑張って両立している先輩ママたちの経験談」が求められていることも分かった。

＜施設環境への要望＞



「受講しやすい日程」や「施設環境」に対しても，さまざまな要望が寄せられた。

「曜日」は，平日（月～金・月～木・火～木等）が多数で，「時間帯」は，午前中（10 時～），午後（13 時～ 15 時まで，16 時まで，18 時まで）等さまざまだった。

中には「働きながら（仕事に復帰しても）参加したいため」，平日ではなく「土曜の午後」や「休日の午前中」という要望もあった。

子育て中（特に就園前の乳幼児を自宅で保育中）の女性を対象とした講座の開催には，託児が欠かせない。今回の講座（全８回）では，のべ 56 人のお子さん（5 ヶ月～ 4 才）をお預かりした。アンケートにも「託児がなければ参加したくてもできなかった」という声が多く寄せられ，次回以降も託児サービス（できれば無料）の要望が多かった。

同時に，富山県は都会と比べて公共交通機関（路線や運行本数）が十分ではなく，特に小さな子ども同伴の外出には自家用車が必須だ。グラフ中の「その他：21 人」「別の会場が良い：14 人」のほとんどは会場に隣接した（無料）駐車場の充実を望む声だった。今回，会場となった施設（富山県民共生センター「サンフォルテ」）には，専用の無料駐車場がある。ただ，館内には研修室のほかに大ホールもあり，支援講座と同じ時間帯に大ホールで大きな催しが重なった場合には，満車となることが何度かあった。その際には近隣の有料駐車場へ廻ったり，または少し離れた無料駐車場まで行き，お子さんを抱え走って来られる受講者もあった。今後の支援講座開催には「無料の託児」と「無料駐車場」の完備が欠かせない。

【受講者の声】

前半：「女性のための再就職支援講座」

第１回：「世の中がわかる経済記事の読み方」（中村　和之 先生）10/3

- 大変わかりやすく，聞いていて面白かった。最後まで飽きずに聞けた。
- タイトルとは違った印象のわかりやすい内容・説明だった。
- とてもわかりやすかった。が，私が理解するにはまだまだです。
- 身近な新聞の利用の仕方がわかり，毎日の生活に活かせそうだと思った。
- ピザの例で，経済のことだけでなく社会でつながることの大切さを改めて気づかされました。
- 先生のお話がわかりやすくてとても良かった。受講して本当に良かった。先生の講座がまたあればまた受講したいです。もっと学んでみたいと思いました。
- HP にこうした講座の案内は掲載されていますか。情報が知りたい。
- ニュース記事を題材として，生活に密着したセミナーを開いてほしい。歴史（郷土史）を詳しく知りたい。

第２回：「仕事に活かせる経営記事の読み方」（馬　駿 先生）10/17

- 実際に記事を読み，チェックしながら考えるきっかけになった。（20 代）
- 新聞の情報からどう考えを展開させていけば良いか，とても勉強になった。今後，時事ニュースにもっと興味を持つことができそう。（30 代）
- 初めて講座に参加したが，とても良かった。（30 代）
- 考えさせられる機会を提供していただけた。（40 代）
- 機会があれば，また受講したい。（60 代）

第３回　「企業活動がわかる会計記事の読み方」（廣橋　祥 先生）　10/24

- 初めての分野なので分からないことばかりだったが，図式・記事を通してわかりやすく話していただき頭を使う良い機械になった。（20 代）
- 自分が再就職する時に，入りたい企業のチェックに役立てたいと思う。（30 代）
- 企業のことを考えるきっかけになった。会計の役割について研究者の考えも知ることができ，疑問もわいたり面白いと思った。（40 代）
- 大変に良い内容で楽しかった。大学にいって学び直したいと思った。（50 代）

第４回　「働くあなたに効く法律記事の読み方」（岩本　学 先生）　10/31

- 最近の法律ニュースをわかりやすく学べた。（20 代）
- 具体的な事例を通して話を聞けたので，とてもわかりやすかった。（20 代）
- 今後，情報収集する上でとてもためになった。（30 代）
- 各テーマの取り上げ方が面白かった。（30 代）
- 法律と生活の関わり，生活に生かせることが理解でした。（40 代）
- わかり易く，丁寧に教えて下さり，ありがとうございました。（50 代）
- わかりやすく講義していただき，ありがとうございました。（60 代）
- 社会との接点を持てる内容が良かった。実際に役立つことがあると思った。（40 代）

後半：「女性のためのキャリア UP 支援講座」

第１回　「自分の才能のみつけ方①　自分の能力を発揮したい！生かしたい！」　12/5
第２回　「自分の才能のみつけ方②　自自分の好きなことに仕事のタネはある」　12/19
（オフィスヤマグチ　代表　プロコーチ　山口ひとみ 先生）

- 普段子どもと過ごすばかりで，大人の知らない方と沢山話せるのが楽しかった（30 代）
- いろんな方とおしゃべりできたのはよかった。（60 代）
- 話下手で，なかなか上手く話をできなかった。（30 代）
- 人の話を聞くことによって，自分について発見がありました。（30 代）
- 座学でないセミナーは初めて参加した。人との会話が楽しめてよかった。（30 代）
- 託児利用ができてよかった。託児ができなければ参加したくてもできなかった（30 代）
- 参加費も託児も無料なので参加しやすかったです。（30 代）
- また参加したい。このような機会があれば教えて欲しい。（50 代）
- 楽しくセミナーを過ごせた。（50 代）

第３回　「自分の才能の使い方①　　自分の感情をコントロールする」　1/16
第４回　「自分の才能の使い方②　　プラス思考の作り方」　1/23
（㈱ル・ソレイユ代表　メンタルコーチ　吉谷　奈艶子 先生）

- 完全に自分の感情をコントロールできるようになるには，訓練が必要かも知れないが今すぐできる方法を教えてもらい，今日からでも少し良くなりそうと思えた。（20 代）
- 今日から感情のコントロールに使えそうな学びを得ることができた。楽しく過ごすことができた。（30 代）
- 意識を変えることで，自分が変わっていく気がした。（30 代）
- 前向きにやってみようという気持ちになれた。元気になれました！（30 代）
- 今，育児中で，まさに感情に振り回される生活を送っていて悩んでいました。とても役に立ちました。また，次回を楽しみにしています。（30 代）
- 自分の普段の生活の中，仕事の中，いろいろな場面でのイメージを持つことができた。（30 代）
- 自分の感情について，向き合うことができた。（40 代）
- グループワークでいろいろな方の話を聞けて，自分の考え以外のものに気づくことができた。（40 代）
- 子どもの大学受験が迫ってきて，「不安」しかなかったのですが，「大丈夫」と言葉に出して，明るい春を迎えたいと思います。（40 代）
- 今の自分に必要な講座内容でした。今日から変われる気がします。本当にありがとうございました。（40 代）
- 今回，メンタル面から日々をどう過ごしていくかというアドバイスをたくさんいただけました。これからは，就職することを見据えて色々と行動していきたいと思いますので専門的知識を得られる講座も希望します。（40 代）
- 今回のような講座の機会が増えればうれしいと思います。これからの家族，家庭のあり方も変わっていくと思いました。（50 代）
- とても楽しく学べて，「やろう！」と思いました。（50 代）
- 毎日，不安や疲労感で押しつぶされそうになるが，今日は，自分で前向きになる言葉を決めることができました。実行します！！（40 代）
- 今，自分が悩んでいる内容だったので，プラスになる ” コツ ” を学べました。30 代

資料

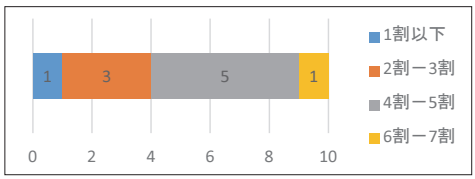
資料 9

文部科学省平成 30 年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」

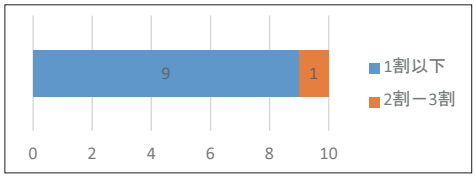
富山県内 10 社　アンケート結果

（協力企業）
北陸電力㈱　北陸銀行　富山銀行　富山第一銀行　富山信用金庫
日医工㈱　㈱広貫堂　㈱インテック　㈱プレステージ　高岡市役所

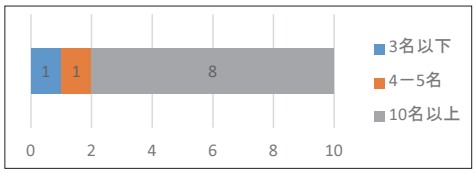
1）貴社職員に占める女性割合はどのくらいでしょうか？



2）出産後の離職割合はどのくらいでしょうか？



3）貴社で何人くらい育児休業を取っている女性がいるでしょうか？



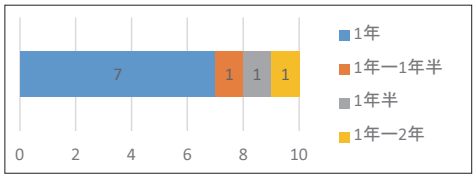
※他に男性が育児休業中（２名）

4）育児休業の後に仕事に復帰される人数はどのくらいでしょうか？

２０名（全員）	１５名
４０名（全員）	１５名
４５名（ほぼ全員）	１０名以上（94%）
２０名（ほぼ全例）	１０名以上（23名、復帰後退社2名）
３名以下（100%）	１１９名（H29年度）※

※H29年度途中からの取得者　71名
前年度からの継続取得者　48名

5）およその育休の期間はどのくらいでしょうか？



6）育児休業中に，面談やセミナーなどの「職場復帰支援」を行っているでしょうか？

・異動希望やキャリアプランなどについて話し合う。
・所属部門長とのキャッチアップ型の面談（ルールおよび面談ツール）を検討中。
・厚労省の「産休・育休復帰支援面談シート」を参考にしている。
・家族参加型育児休業セミナー（年 1 回）を開催している。
・パソコンを貸与し，社内情報を共有できる環境を作っている。
・育児休業取得中の従業員に対して，研修センターで受講料を助成している。
・通信教育（簿記などのスキル）について情報共有し，受講可能である旨を周知。
(教育の機会を提供)
・復帰前セミナー（2 か月前）で，事務的変更点などを伝達している。
・育ママセミナー（年 1 回）を開催し，復職後の情報交換やランチミーティングを実施中。
・人事異動などの社内情報を共有できる環境を作っている。
・通信教育を取り入れ，銀行に関係する内容は受講料を援助している。
・出産前後に，冊子で復職に関する説明を行っている。
・復帰前 2 か月に，電話で面談している。
・月に 1 回，定期的に交流する接点がある。
・iPhone や PC 貸与により人事異動などの社内情報を共有できる環境を作っている
・復職前に面談を行っている。
・月 2～3 回の開放日にも時短勤務や育児相談など可能。
・全職員対象のスキルアップセミナーでは，託児利用可能。
・再雇用にジョブリターン制度を取り入れた。
・復帰 1 か月前に個別相談（復帰ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ，保育園近くの支店，時短勤務等）
・定期的に交流がある。
・社内行事の際に連絡する。
・交流を欠かさず，時折面談。
・給与明細などの配布物を渡す際にも交流している。
・復帰 2 か月前に所属長との面談をする。
・所属担当者から社内の情報を伝える。
・育休中には，通信教育の受講料を優遇。
・社内保育園（25 名）あり。
・育休明け前に電話で連絡し，部署内での交流を大切にしている。
・現在，特にセミナーはないが，女性キャリア支援プロジェクトチームを形成し今後活動を予定している。特に，キャリア・アップの啓蒙活動を予定。
・特になし。毎月書類の送付。

7）大学が中心となる「学び直しのセミナー」があれば利用したいでしょうか？

・育休中の女性には，企業からの情報だけで十分ではないか（育休の期間が短いため）
・育休中でも，受け入れる余裕と意欲があれば，セミナーは効果的と思われるが
現実には難しい場合が多いように思われる。
・復帰不安に対する個別相談は効果あるかもしれないが，教養セミナーの効果は疑問。
・受講者は限られると思う。
・教養セミナーは，パートタイム女性のキャリアアップや再雇用者には有用だと思う。
・教養セミナーは，再就職を目指す女性に有用ではないか。

子育て中の女性を対象とした
「教養セミナー（学び直しのセミナー）」に対しては，
当初，ネガティブな意見が多かった。

・今回の「教養講座」は広い分野で良いと思う。
・先輩の経験談を聞くセミナーが効果ある。
・コーチングセミナーの方が有用かもしれない。
・講座名は「キャリアアップ支援」の方がわかりやすい。
・事務職の一部では知りたい内容だと思う。
・社内で告知させていただきたいと思います。
・利用の可能性はあり。

8）セミナーの内容で希望がありますでしょうか？

・医療や介護についてのセミナー
・これからの介護の考え方と上手な付き合い方
・仕事や生活に生かせる心理学
・「仕事と育児の両立」や「今後のキャリア形成」に関するセミナー
・キャリアアップの啓蒙的内容